

# 事業自己点検評価 報告編

令和6年度



# 目 次

## 収蔵資料

- 1. 指定文化財一覧……………3

## 歴史と文化の継承と研究

- 1. 資料受入
  - (1) 購入資料……………4
  - (2) 受贈資料……………4
- 2. 資料保存
  - (1) 収蔵庫・展示室の保存環境……………5
- 3. 資料補修……………6
- 4. 調査研究計画
  - (1) 実施した調査……………6
  - (2) 次年度以降の開催予定展覧会の進捗状況……………6
  - (3) 研究成果発信（執筆・講演・発表等）……………6
  - (4) 館蔵品目録・研究紀要・年報……………6
  - (5) デジタルアーカイブの作成……………7

## 歴史と文化への窓口

- 1. 常設展
  - (1) 神戸の歴史展示……………8
  - (2) 地域文化財展示室……………14
  - (3) コレクション展示……………15
- 2. 特別展
  - (1) 第 148 回特別展 Colorful JAPAN—幕末・明治手彩色写真への旅……………22
  - (2) 第 149 回特別展 テルマエ展 お風呂でつながる古代ローマと日本……………30
  - (3) 第 150 回特別展 デ・キリコ展……………38
  - (4) 第 151 回特別展 古地図からひろがる世界—南波松太郎・蒐集 70 年の軌跡—……………48
  - (5) 第 152 回特別展 日本銅版画 30 の極み……………48
- 3. 企画展
  - (1) 特集展示 神戸の仏教絵画—旧居留地×異世界巡り……………57
- 4. 特別利用等
  - (1) 画像利用……………60
  - (2) 画像提供……………60
  - (3) 特別利用 館外貸出……………60
  - (4) 特別利用 館外貸出以外……………61
- 5. 広報
  - (1) HP……………61
  - (2) SNS……………61
  - (3) 印刷物製作（博物館だより・展覧会予定）……………61
  - (4) その他広報活動（取材・掲載対応）……………61

6. 広聴	62
7. ミュージアムグッズ	62
人々とともに歩む	
1. 普及事業	
(1) 一般向け事業	64
(2) 子供向け事業	67
2. 博学連携	
(1) 連携授業・学校向け館内オリエンテーション	67
(2) 大学との連携	68
(3) 博物館実習	68
3. 学習支援交流員	
(1) 学習支援交流員活動	69
4. 地域連携・共催事業	
(1) 共催・協力事業	70
やさしさと安心の確保	
1. 施設管理	
(1) 設備総括管理業務	73
(2) その他施設等の改修工事の実施	73
2. インフォメーション、ショップ・カフェ	
(1) インフォメーション	74
(2) ミュージアムショップ・カフェ	74
3. 警備、清掃	
(1) 警備	74
(2) 清掃	74
4. 緊急時対応	
(1) 消防訓練	74
(2) 新型コロナウイルス感染症対策等	74
入館者数	
1. 年間入館者数	75
2. 年齢層・階層別	75
3. 特別展	76
予算	78
博物館・美術館協議会	78
組織・職員	79

# 収蔵資料

1. 指定文化財一覧					
指定区分	指定年月日	指定番号	資料名称	員数	時代
国宝	昭和 45 年 5 月 25 日	考第 34 号	桜ヶ丘銅鐸・銅戈群 (袈裟襷文銅鐸、袈裟襷文銅鐸、銅鐸、流水文銅鐸、銅戈)	21 口	弥生時代中期
重要文化財	昭和 28 年 3 月 31 日	絵第 1257 号	紙本金地著色泰西王侯騎馬図 (ノ四曲屏風)	4 曲 1 隻	江戸時代初期
重要文化財	昭和 32 年 2 月 19 日	絵第 1390 号	絹本著色織田信長像 (古溪宗陳賛)	1 幅	桃山時代 天正 11 年 (1583) 賛
重要文化財	昭和 43 年 4 月 25 日	絵第 1625 号	紙本著色四都図・世界図 (ノ八曲屏風)	8 曲 1 双	江戸時代初期
重要文化財 (附指定)	昭和 45 年 6 月 17 日 (昭和 56 年 6 月 5 日)	建第 1771 号	旧小寺家廐舎設計図他	68 点	明治 43 年 (1910) ※旧小寺家廐舎 の付属指定
重要文化財	平成 7 年 6 月 15 日	絵第 1938 号	紙本金地著色南蛮人渡来図 (狩野内膳筆ノ六曲屏風)	6 曲 1 双	桃山時代
重要文化財	平成 9 年 6 月 30 日	絵第 1957 号	絹本著色相州鎌倉七里浜図 (司馬江漢筆ノ二曲屏風)	2 曲 1 隻	江戸時代 寛政 8 年 (1796)
重要文化財	平成 12 年 6 月 27 日	絵第 1974 号	紙本著色フランシスコ・ザビエル像	1 面	江戸時代初期
重要美術品	昭和 9 年 9 月 1 日		西洋二武人図・師父二童子	2 面	江戸時代初期
重要美術品	昭和 23 年 4 月 27 日		伝福岡県内経塚出土遺物	10 点	平安時代ノ永久 5 年 (1117)
登録文化財	平成 10 年 9 月 2 日	第 28-0026 号	神戸市立博物館 (旧横浜正金銀行神戸支店)	1 棟	昭和 10 年 (1935)
市指定文化財	平成 21 年 2 月 24 日	工芸品	南蛮人桜花文蒔絵鞍	1 背	安土桃山時代
市指定文化財	平成 26 年 3 月 25 日	工芸品	銅製経箱	1 合	鎌倉時代後期
市指定文化財	平成 26 年 3 月 25 日	書跡・古文書	和田岬・湊川砲台 (台場) 関係資料	1 件 (絵図 10 点・文書 14 点)	江戸時代末期
市指定文化財	平成 29 年 3 月 21 日	歴史資料	神戸外国人居留地計画図	1 幅	明治 5 年 (1872)

## 歴史と文化の継承と研究

1. 資料受入				
(1) 購入資料				
分類	資料名	制作時期	員数	購入先
歴史	日記帳 (大坂目付を務めた旗本土方八十郎勝敬の家臣飯田氏による御役目日記)	嘉永4年～5年 (1851-1852)	1冊	書肆つづらや
歴史	切支丹宗門御制禁寺請帳	弘化3年 (1846)写	1冊	沙羅書房
歴史	神戸オリエンタルホテル	大正15年 (1926)以降	1点	古書リネン堂
歴史	六甲山ホテル御案内	昭和6年 (1931)頃	1点	古書リネン堂
歴史	摂州旅誌	天保13年 (1842)	1冊	書肆つづらや

(2) 受贈資料				
分類	資料名	制作時期	員数	寄贈者
美術	魚見家旧蔵資料 (銅板転写異国風景図大皿、型吹き緑色角形ガラス瓶)	天保3年 (1832)箱書 きほか	2件2点	魚見 雅人
歴史	手彩色写真 (諏訪山稲荷、有馬、神戸眺望、滝道、海岸通、生田神社参道)	明治時代中期 ～後期	6点	布施 康夫
美術	池長孟「杜若図」	大正時代～昭和時代前期	1幅	福巖寺
歴史	須磨百首かるた	大正14年 (1925)	一式	濱本 龍彦 濱本 絢子
歴史	尼崎から明石まで道中図絵巻	江戸時代、18世紀	1巻	植松 義博
歴史	桜ヶ丘銅鐸拓本	昭和時代	15点	喜谷 和子
歴史	御影小川邸関係資料	昭和時代初期	18件39点	小川 昌三 本條 八重 小川 瑳生郎

2. 資料保存	
(1) 収蔵庫・展示室の保存環境	
作業	実施内容
温湿度モニタリング・虫類確認	毎週水曜日に実施。「収蔵区域」において、±5%・2℃以内の変動に抑えた温度管理を行っていることを確認した。 毎月4階収蔵庫のトラップによる虫類確認を行った。 害虫発見記録の作成（日時、発見場所、対処等を記録。館内殺虫業務等の仕様に反映）。毎日朝夕の常設展示室の状況点検・記録。
収蔵庫などの清掃	月1回、4階の収蔵庫清掃を実施した。トラップ内に害虫が確認された箇所は重点的に清掃した。 特別展示室2奥倉庫は夏季にチャタテムシの発生数が増加したが、重点的な清掃を行った後減少した。
燻蒸作業	令和7年1月13日～17日 於：当館特別展示室1 コレクション展示「受贈記念展示 旧御影小川瑤五郎邸残照」の出品資料等。
生物環境調査	1回目:令和6年6月24日/2回目:令和6年9月17日 館内各所でフェロモントラップ捕虫調査(71ヶ所)、空中浮遊菌の採集・培養検査(68ヶ所)、室内塵内昆虫調査(27ヶ所)。 臨時:令和6年9月17日 菌の拭き取り採集・培養検査(1ヶ所6地点) 臨時:令和7年3月14日 菌の拭き取り採集・培養検査(1ヶ所10地点)
館内殺虫業務	令和6年12月18日 各階トイレ、カフェ水回りを含む館内50ヶ所 有機リン系殺虫剤を用いた害虫防除作業。
その他	水回りを中心とした箇所への誘引型殺虫剤の設置。 「令和6年度博物館・美術館等保存担当学芸員研修(初級コース)」への参加 モニタリングの結果を踏まえた館内空調の調整。

3. 資料補修			
分類	資料名	員数	補修内容
美術	熊斐「清泉白鶴図」 清躬「駝鳥図」、清躬「火喰鳥図」、 沈南蘋「獅子戯児図」、「姑蘇萬 年橋図」、谷文晁「ファン・ロイ エン筆花鳥図摸写」、春木南溟 「虫合戦図」	7点	熊斐「清泉白鶴図」は作品解体のうえ、折れ 伏せ、絵具の剥落止め、裏打ちなど。 「駝鳥図」以下5点は令和元年度に台湾・ 国立故宮博物院南院への貸出に際し、 CITES（ワシントン条約）対策として一時 交換した牙軸・紫檀軸及び軸木の復旧。
考古・ 歴史	「桜ヶ丘銅鐸・銅戈群」	21点	現況調査
その他	展示計画における館蔵品の調査や資料整理及び収蔵庫の保存状況を定期的に確認し た。次年度に補修を予定している「四都図・世界図屏風」については、作業期間を要す るため、本年度よりその準備を行った。		

4. 調査研究計画		
(1) 実施した調査		
調査件数	調査先 89 件、作品件数 1,134 件 ※複数名での調査を含むため重複あり	
区分		件数
	当該年度展覧会にかかる資料調査	45 件
	次年度以降の展覧会にかかる資料調査	2 件

(2) 次年度以降の開催予定展覧会の進捗状況		
開催年度	展覧会名	進捗
7	蒐集家・池長孟の南蛮美術	市内・奈良・千葉県等で関連資料調査
7	銅鐸とムラ	市内・滋賀・長野・島根県等で関連資料調査

(3) 研究成果発信（執筆・講演・発表等）		
成果件数		
区分		件数
	執筆（展覧会図録・研究紀要など）	23 件
	普及（市内勤労会館での講座、館内普及事業など）	20 件
	講演（他館依頼による講演など）	7 件
	発表（所属学会での発表など）	7 件
	その他（作品連載等の新聞掲載記事など）	1 件

(4) 館蔵品目録・研究紀要・年報	
館蔵品目録	
美術の部 No.39 びいどろ史料庫コレクション3 日本製プレスガラス (2)	PDF 版

考古・歴史の部 No.39 古文書 15 兵庫勤番文書	PDF 版
研究紀要	
No.40	900 円
中山 創太「池長美術館日記」をめぐって」	
山田 麻里亜「【資料紹介】鼓嶽山人筆「薔薇に小禽金魚図」と南蘋派における金魚図の作例について」	
永山 未沙希「【資料紹介】「天文分野之図版木」について—南波松太郎コレクションから—」	
小野田 一幸「【資料紹介】『近世刊行大坂図集成』補遺(2)—南波松太郎旧蔵資料から—」	
年報	
No.40 (令和 5 年度)	PDF 版

(5) デジタルアーカイブの作成	
WEB	文化遺産オンラインに 223 件の作品・資料の情報を追加。公開件数は 1942 件となった。博物館公式サイト「コレクション」でも同件数を公開。 内訳：「古代の神戸」41 件、「中世の神戸」35 件、「近世の神戸」19 件、「開国開港」75 件「近代の神戸」480 件、「神戸の近代美術」334 件、「古地図」94 件、「南蛮美術」50 件、「江戸時代の洋学」34 件、「長崎ゆかりの絵画」419 件、「江戸の絵画」406 件、「近世・近代の漆工・陶磁器・染織」20 件、「びいどろ・ぎやまん・ガラス」173 件（複数区分登録分も含む）
館内端末	1 階情報コーナーで 3 台の端末により、以下のコンテンツが無料で利用可能。 「描かれた神戸 写された神戸」では中世～昭和前期の絵画・写真に記録された神戸の景観イメージ 1124 件を公開中。 「コレクション検索」では 1287 件の情報を公開中。

## 歴史と文化への窓口

### 1. 常設展

#### (1) 神戸の歴史展示

[原始]「海の回廊東アジアとの交流」 出土資料、五色塚古墳模型等を用い、太古の神戸の人々の足跡を紹介する。

[古代中世]「大輪田泊から兵庫津へ」 文献史料、地域に伝わる有形・無形資料等を通して、古代・中世の実像を紹介する。

[近世]「兵庫津の繁栄」 文献史料や絵図のほか、兵庫津模型を交え、港町として繁栄した江戸時代の兵庫の姿に迫る。

[近現代]「開港 世界との交わり」 文献史料、パンフレット、絵葉書などの資料を展示し、近現代の神戸の姿を活写する。

□神戸市指定文化財

指定	資料名 (所蔵番号または所蔵)	作者	材質技法	員数	時代
□	鱈付円筒埴輪 五色塚古墳出土 (神戸市蔵)		粘土	4点	古墳時代前期
	有茎尖頭器 垂水区名谷町出土 (考 015-06)		サヌカイト	1点	旧石器時代
	有茎尖頭器 北区山田町出土 (考 015-05)		サヌカイト	1点	旧石器時代
	ナイフ形石器 兵庫区会下山町出土 (考 015-01)		サヌカイト	1点	旧石器時代
	ナイフ形石器 西区神出町出土 (考 015-02)		サヌカイト	1点	旧石器時代
	ナイフ形石器 池上南山遺跡 (西区) 出土 (考 015-03-01~04)		サヌカイト	4点	旧石器時代
	石刃 大歳山遺跡 (垂水区) 出土 (考 015-04)		サヌカイト	1点	旧石器時代
	縄文土器 深鉢 境川遺跡 (須磨区) 出土 (考 013-2-1)		粘土	12点	縄文時代早期
	石鏃 境川遺跡 (須磨区) 出土 (考 013-2-3)		サヌカイト	2点	縄文時代早期
	石槍 境川遺跡 (須磨区) 出土 (考 013-2-3)		サヌカイト	2点	縄文時代早期
	搔器 境川遺跡 (須磨区) 出土 (考 013-2-3)		サヌカイト	2点	縄文時代早期
	縄文土器 深鉢 (復元品)		粘土	1点	縄文時代前期

大歳山遺跡（垂水区）出土（新 1995-035-5）					
弥生土器 壺 伯母野山遺跡（灘区）出土（新 1987-133-01-077）		粘土	1 点	弥生時代中期	
弥生土器 甕 伯母野山遺跡（灘区）出土（新 1987-133-01-031）		粘土	1 点	弥生時代後期	
弥生土器 高坏 伯母野山遺跡（灘区）出土（新 1987-133-01-054）		粘土	1 点	弥生時代後期	
弥生土器 飯蛸壺 伯母野山遺跡（灘区）出土（新 1987-133-01-089・090）		粘土	2 点	弥生時代中期	
磨製方柱状片刃石斧 伯母野山遺跡（灘区）出土（新 1987-133-01-201）		緑色片岩	1 点	弥生時代中期	
磨製石杵 伯母野山遺跡（灘区）出土（新 1987-133-01-226）		硬質砂岩	1 点	弥生時代中期～後期	
石製分銅（天秤権） 伯母野山遺跡（灘区）出土（新 1987-133-01-211）		安山岩	1 点	弥生時代中期～後期	
板状鉄斧 伯母野山遺跡（灘区）出土（新 1987-133-01-165）		鉄	1 点	弥生時代中期～後期	
素文鏡 大歳山古墳（垂水区）出土（新 1982-743-6）		青銅	1 点	古墳時代前期	
ガラス製小玉 大歳山古墳（垂水区）出土（新 1982-743-1）		ガラス	42 点	古墳時代前期	
碧玉製勾玉 大歳山古墳（垂水区）出土（新 1982-743-2）		碧玉	1 点	古墳時代前期	
硬玉製勾玉 大歳山古墳（垂水区）出土（新 1982-743-4）		翡翠カ？	1 点	古墳時代前期	
管玉 大歳山古墳（垂水区）出土（新 1982-743-3）		碧玉・緑色凝灰岩	19 点	古墳時代前期	

石釧 大歳山古墳（垂水区）出土 （新 1982-743-5）		緑色凝灰岩	1 点	古墳時代前期
須恵器 生田町古墳群 （中央区）出土 （個人蔵）		粘土	18 点	古墳時代後期
海東諸国記 （新 1983-011）	原本:申叔舟	紙本墨書	1 冊(5 冊のうち)	（原本）朝鮮成宗 2 年（1471）、元禄 2 年（1689）写
略平家都遷 （新 2017-018）	江島其磧	紙本木版墨摺	1 冊	享保 20 年（1735）
摂州一の谷嶋越ヨリ義経 平家ヲ攻ル図 （新 1988-111）	歌川芳藤	紙本木版色摺	3 枚続	明治時代前期
室町幕府御教書（複製） （新 1986-108-1）		（原品）紙本墨書	1 点	（原品）暦応 2 年（1339）
軒平瓦（均整唐草文） （考 005-01-025）		瓦	1 点	平安時代
兵庫北関入船納帳（複製） （新 2018-016）		（原品）紙本墨書	1 冊	（原品）文安 2 年（1445）
奥蔵寺 大般若経 （新 2003-007）		紙本墨書	1 卷	久安 3 年～5 年 （1147-1149）
遣唐使船模型 （新 1981-460）			1 点	昭和時代
太平記英勇伝 荒儀撰津 守村重（別車-1-1-236）	歌川国芳	紙本木版色摺	1 点	弘化 4 年～嘉永 5 年 （1847-1852）
太平記英勇伝 松永大膳 久英（別車-1-1-226）	歌川国芳	紙本木版色摺	1 点	弘化 4 年～嘉永 5 年 （1847-1852）
撰津国山田荘御年貢米銭 算用状事（「粟花落家文 書」のうち、新 2001- 021）		紙本墨書	1 点	明応 3 年（1494）
羽柴秀吉領知判物（「榎井 家文書」のうち、個人 蔵）		紙本墨書	1 点	天正 8 年（1580）
東海道西海道南海道絵図 （複製）（新 2019-015）		（原品）紙本著色	1 卷	（原品）江戸時代中期
朝鮮人御用覚日記（「鷲尾 家文書」のうち、個人 蔵）		紙本墨書	2 冊	宝暦 12 年～明和元年 （1762-1764）
神戸海軍操練所鬼瓦		粘土	1 点	文久 3 年～元治 2 年（1863-

	(新 1979-111)				1865) 頃
	弁財船模型 (新 1981-671)		木	1 点	(原品) 安政 6 年 (1859)
	摂州兵庫津絵馬 (複製) (新 1981-621)		木地著色	1 点	(原品) 天保 2 年 (1831)
	天保山魯船図 (複製) (新 2019-016)		(原品) 紙本著色	1 点	(原品) 嘉永 7 年 (1854) 頃
	毎月 家持・借家 人別 改判形帳 (新 2011-014)		紙本墨書	2 冊(7 冊 のうち)	嘉永 2・3 年 (1849・50)
	イラストレイテッド・ロ ンドンニュース (新 1990-032)		紙本印刷	1 点	1868 年 3 月 28 日
	文久遣欧使節のハーグで の国王訪問式典における 式辞を掲載したポスター (新 2018-007)		木口木版・活版印 刷	1 枚	1862 年
	瀬戸内海写真帳 (新 1985- 090)		紙焼写真	1 冊	明治時代中期
	神戸海軍操練所絵図写 (新 1982-746-18)		紙本淡彩	1 枚	明治 43 年 (1910) 写
	神戸外国人居留地 煉瓦 下水道管 (新 1985-475)		煉瓦、漆喰	1 点	明治時代初期
	神戸外国人居留地計画図 (複製) (新 2017-022)		(原品) 紙本ペン 書	1 幅	(原品) 明治 5 年 (1872)
	神戸居留地廿六番プロヲ ン商館引札 (18 章-小 238)	石田有年か	紙本銅版色摺	1 点	近代
	摂州神戸西洋館賑之図 (15 章-並 082)	長谷川小信 (二代貞信)	紙本木版色摺	1 点	明治 4 年～7 年 (1871-1874)
	居留地模型 (新 1982-730)			1 点	昭和 57 年 (1982)
	旧居留地模型 (新 1993-118)			1 点	平成 5 年 (1993)
	居留地 16 番標示石 (新 1980-216-2)		石	1 点	近代
	人力車 (新 1982-700)		金属	1 点	明治時代後期～大正時代
	居留地の下水道に使われ た煉瓦 (旧常設展示)		煉瓦	2 点	明治時代初期
	外国商館の軒先棧瓦 (新 1987-059)		瓦	1 点	明治時代
	輸出茶の商標		紙本木版色摺	1 点	明治時代中期～後期

	SUMITOMO (20章-別 031-02)				
	マッチラベル (旧常設展示)		紙本印刷	2点	近代
	神戸三菱造船所開渠耆周年記念誌(新 1991-276)	三菱合資会社神戸三菱造船所	紙本印刷	1点	明治39年(1906)8月8日
	軸列機(新 1982-677)		金属	1点	近代
	印刷機一式 (新 2018-002)		金属	1式	近代
	金子翁記念像縮写、鈴木よね子刀自記念像縮写 (新 1978-028)	本山白雲	ブロンズ	2点	昭和12年(1937)8月
	相生橋の上から東を望む (「神戸名所写真」より) (新 1988-109-05)		紙焼写真	1点	明治時代中期
	雑居地海岸通の電灯(「神戸名所写真」より)		紙焼写真	1点	明治時代中期
	山陽電気鉄道レール「明姫電気鉄道」 (新 1980-279)		金属	1点	明治41年(1908)11月
	山陽電気鉄道レール「兵庫電気軌道」 (新 1980-279)		金属	1点	大正11年(1922)4月
	阪神電気鉄道レール (新 1980-319)		金属	1点	明治36年(1903)
	双頭レール (新 1980-280)		金属	1点	明治時代初期
	第一回神戸みなとの祭ポスター(複製) (新 2020-012-001)	小磯良平 原画	(原品)紙本印刷	1点	(原品)昭和8年(1933)
	第一回神戸みなとの祭国際大舞踏会(複製) (新 2020-012-002)	森義弘 原画	(原品)紙本印刷	1点	(原品)昭和8年(1933)
	摩耶山案内 (新 2017-007)		紙本印刷	1点	大正14年(1925)5月1日
	The Climax System for Cutting Gentlemen's Garments (新 2004-025)	T. W. Hodgkinson	紙本印刷	1冊	大正9年(1920)頃
	洋裁用鋏(新 2004-025)		金属	1点	明治43年(1910)頃

	国産第一号パーマネント機 (新 1979-080)		金属	1 点	昭和 9 年 (1934)
	グループ愛用の食器 (新 1981-494)		金属、陶磁器	1 式	明治時代中期～大正時代
	パン型		金属	2 点	近代
	トア・ホテルのメニュー (新 1979-064)		紙本印刷	1 点	大正時代～昭和時代初期
	ラムネ瓶		ガラス	1 点	近代
	欧風の椅子 天池徳兵衛製 (新 1980-099)		木、布	1 点	近代
	ひじつき椅子 (新 1982-645)		木、布	1 点	明治時代
	神戸市水害写生帖 (2) (新 2002-021)	神戸市初等教育研究会 図画部	紙本著色	1 点	昭和 13 年 (1938) 頃
	菊水小学校学校日誌 (2) (新 2008-032)		紙本印刷	1 点	昭和 20 年 (1945)
	染付銅板転写異国風景図皿 (新 1990-126)	イギリス	軟質磁器	5 枚	1880 年頃
	褐色釉六稜形南北アメリカ大陸図皿 (新 2014-028-052)	志度窯	軟質陶器	1 点	江戸時代、18 世紀後期
	緑釉六稜形アジア図皿 (新 2024-028-049)	志度窯	軟質陶器	1 点	江戸時代、18 世紀後期
	金彩ガラス蓋物 (新 1986-082)		ガラス	1 点	19 世紀後半
	撰州神戸海岸繁栄図 (15 章・並 089)	長谷川小信 (二代貞信)	紙本木版色摺	1 点	明治 4 年～8 年 (1871-1875)
	官許 汽車発着時刻表 全賃金表 (新 1987-250)		紙本木版色摺	1 点	明治時代初期
	博物館復旧作業記録	勝盛典子	紙・印刷	一式	平成 7 年 (1995)

展示替え	実施内容
6 月 21 日	[近代] 染付銅板転写異国風景図皿→褐色釉六稜形南北アメリカ大陸図皿
9 月 10 日	[古代中世] 室町幕府御教書 (複製) → 撰州一の谷鶴越ヨリ義経平家ヲ攻ル図 [近世] 太平記英勇伝 松永大膳久英 → 太平記英勇伝 荒儀撰津守村重、羽柴秀吉領知判物 → 撰津国山田莊御年貢米銭算用状事

9月13日	[近代] 褐色釉六稜形南北アメリカ大陸図皿→緑釉六稜形アジア図皿
10月3日	[近代] 摂州神戸西洋館賑之図 → 摂州神戸海岸繁栄図、相生橋の上から東を望む(「神戸名所写真」より) / 雑居地海岸通の電灯(「神戸名所写真」より) → 官許 汽車発着時刻表 全賃金表
1月15日	[近代] 褐色釉六稜形南北アメリカ大陸図皿→金彩ガラス蓋物 / (新規追加) 博物館復旧作業記録
3月6日	[近世] イラストレイテッド・ロンドンニュース→神戸海軍操練所絵図 / 文久遣欧使節のハーグでの国王訪問式典における式辞を掲載したポスター→瀬戸内海写真帳

無料音声ガイド(項目数:日本語版9件、英語版9件)利用者数
2,437人(前年度:1,771人)

神戸市立博物館と阪神・淡路大震災
令和7年(2025)1月16日(木)～

阪神・淡路大震災発生から30年にあたり、近現代コーナーにおいて、関連資料の展示、スライドショーの上映、新規パネルの設置、「博物館だより No.51」(復刻版)の配布を行った。

## (2) 地域文化財展示室

### 青灰色の世界—須恵器— 3月30日(土)～6月8日(日)

内容 / 「青灰色の世界」をテーマに、神戸市内から見つかった須恵器を中心に紹介した。

- ・ 出品件数 7 件 ※展示作品リストは[当館 HP](#)に掲載

### 『源氏物語』へ—重なる、須磨の「物語」— 6月22日(土)～8月25日(日)

内容 / コレクション展示と連動し、須磨に息づく物語の世界を紹介した。

- ・ 出品件数 2 件 ※展示作品リストは[当館 HP](#)に掲載

### 南北朝内乱期の神戸を辿るⅡ 9月14日(土)～12月8日(日)

内容 / 神戸に遺る南北朝内乱の武将たちの逸話について、館蔵資料を用いながら紹介した。

- ・ 出品件数 5 件 ※展示作品リストは[当館 HP](#)に掲載

### こうべの瓦—房王寺廃寺 12月24日(土)～2月16日(日)

内容 / 室内小学校の敷地内から出土したと伝わる瓦を中心に神戸の古代瓦を紹介した。

- ・ 出品件数 13 件 ※展示作品リストは[当館 HP](#)に掲載

### 受贈記念展示 旧御影小川瑤五郎邸残照 2月18日(火)～3月23日(日)

内容 / 東灘区御影に存在した、兵庫県医師会初代会長である小川瑤五郎(1876-1951)自邸の関連資料を展示した。

- ・ 出品件数 3 件 ※展示作品リストは[当館 HP](#)に掲載

(3) コレクション展示

●国宝 ◎国指定重要文化財 ○兵庫県指定重要有形文化財 □神戸市指定文化財

■国宝 桜ヶ丘銅鐸・銅戈群

内容／昭和39年(1964)に六甲山南麓の山中で偶然発見され、絵が鋳出された銅鐸4口を含むことや、発見された銅鐸14口、銅戈7口が散逸せず保管されていることを評価され国宝に指定された「桜ヶ丘銅鐸・銅戈群」を紹介する展示室。

国宝の原資料を通期展示。

指定	資料名	材質技法	員数	時代
●	桜ヶ丘銅鐸・銅戈群(考001)	青銅	銅鐸14口 銅戈7口	弥生時代中期、紀元前2～紀元後1世紀

■重要文化財 聖フランシスコ・ザビエル

内容／日本に初めてキリスト教を伝えた偉人の肖像として広く知られている「聖フランシスコ・ザビエル像」と、ザビエルその人の足跡を紹介する展示室。あわせて、関連資料展示では、17世紀初期の洋風画等を展示した。

・原資料展示期間：9月14日(土)～11月4日(月・振休)

指定	資料名	材質技法	員数	時代
◎	聖フランシスコ・ザビエル像(01章・額001)	紙本著色	1面	江戸時代前期、17世紀前期

・関連展示

展示期間	指定	資料名	材質技法	員数	時代
3月30日(土)～ 6月8日(土)		師父二童子図	紙本著色	1面	江戸時代、17世紀初期
6月22日(土)～ 8月25日(日)		西洋二武人図	紙本著色	1面	江戸時代、17世紀初期
9月14日(土)～ 11月4日(月・振休)		狩野宗秀筆「都の南蛮寺図」	紙本著色	1点	桃山時代、16世紀後期
11月6日(水)～ 12月8日(日)		教会祝日曆	紙本銅版	1面	江戸時代、17世紀初期
12月24日(土)～ 2025年2月16日(月)		出陣図	紙本著色	1点	江戸時代、17世紀初期

2月18日(火・祝)～ 3月23日(日)		銅版聖碑	紙本銅版	1点	16世紀後期～17世紀前期
-------------------------	--	------	------	----	---------------

## ■美術

### 大阪～神戸間開業 150年 描かれた鉄道 3月30日(土)～6月8日(土)

内容／明治5年(1872)の新橋～横浜間に次いで、明治7年に大阪～神戸間の官設鉄道が開業した。今年はその開業から150年の節目を迎えた。黒煙をあげながら颯爽と進む蒸気機関車の姿に、当時の人々はきっと驚いたことだろう。その関心の高さを示すように、明治3年に開始された鉄道敷設(ふせつ)のための測量開始から間もなく、浮世絵の題材に鉄道錦絵が登場する。浮世絵師たちが描く鉄道は、速報性を重視したために、実際とは異なる不思議な世界が広がっている点も魅力の一つ。今回の展示では、池長孟、上川庄二郎(かみかわしょうじろう)のコレクションから、鉄道を描いた作例を紹介した。

- ・出品点数：12件 ※展示作品リストは[当館HP](#)に掲載

### 生誕130年記念 川西英の木版画—あの頃の神戸歳時記— 6月22日(土)～8月25日(土)

内容／川西英(かわにしひで)は、近代神戸を代表する版画家。明治27年(1894)に神戸で生まれ、ほとんど独学で創作版画に取り組み、鮮やかで親しみやすい木版画表現を確立した。今回は、川西英の生誕130年を記念し、彼の作品世界を「季節と暮らし」というテーマを設けて紹介した。

特別展「テルマエ展」と連動し、川西英が描いた有馬や城崎などの温泉地に関する作品も展示した。

- ・出品点数：30件 ※展示作品リストは[当館HP](#)に掲載

※本展は会期中に展示替えを行った。

(前期展示) 6月22日(土)～7月21日(日)

(後期展示) 7月23日(火)～8月25日(日)

### 南蛮屏風とその時代 9月14日(土)～12月8日(日)

内容／「南蛮」。この言葉の起源は、中国南方にある異国を表す言葉だったが、日本では南方の海から船でやってくる異国人の意味合いで使われた。16世紀中期にポルトガルなどの西洋人の渡来が本格化すると、彼らを南蛮人と呼ぶ感覚が定着するようになる。南蛮人たちの異国での生活、航海、日本への渡来と交易・信仰のありさまなどを描いた屏風絵を総じて「南蛮屏風」と呼ぶ。この展示では、南蛮屏風をはじめとする近世初期の風俗画にみえる、南蛮交易、秀吉の南蛮趣味、キリスト教の広まりと禁教など、日欧交流の諸相を紹介した。

- ・出品点数：4件 ※展示作品リストは[当館HP](#)に掲載

※本展は会期中に展示替えを行った。

(前期展示) 9月14日(土)～11月4日(月・振休)

(後期展示) 11月6日(水)～12月8日(日)

### 時を告げるからくり—和時計の世界 12月24日(火)～2025年2月16日(日)

内容／生活のなかで最も重要な基準の一つが「時間」。現在の日本では、皆が時間や時刻に対して共通の認識を持っているが、こうした状況を実現した存在こそが時計である。西洋から日本に機械時計が渡ってきたのは16世紀半ば頃のこと。当時用いられていた不定時法に合わせ、和時計は独自の発展を遂げた。そのなかには、からくりの如く高度な技術が用いられたものや、美術品のように美しい装飾が施されたものも少なくない。江戸時代に製作された和時計や、職人たちの優れた技術を紹介した。

・出品点数：10件 ※展示作品リストは[当館HP](#)に掲載

### 受贈記念展示 旧御影小川瑳五郎邸残照 2月18日(火)～3月23日(日)

内容／東灘区御影に存在した、兵庫県医師会初代会長である小川瑳五郎（おがわさごろう・1876-1951）自邸。御影は、大正9年（1920）阪神急行電鉄神戸線の開業や、大正12年の関東大震災の影響等により、豪商や知識人が自邸・別荘を構える地となり、西洋文化をベースとした近代的な芸術・文化・生活様式、いわゆる「阪神間モダニズム」が息づくまちとなった。阪神間モダニズム建築を代表する建築ともいえる小川邸には、ステンドグラスや、瀟洒な照明器具、ベイウインドウにあわせて配置することを目的とした作りつけの家具等が良質な状態で保存されていた。この度ご遺族のご厚意により、当館に寄贈いただいた家具等を設計図面とともに展示した。

・出品点数：11件 ※展示作品リストは[当館HP](#)に掲載

### 新規収蔵美術コレクションを中心に 2月18日(火)～3月23日(日)

内容／当館は基本テーマ「国際文化交流—東西文化の接触と変容」のもと、諸外国の影響を受けた日本の美術作品を中心に収集・拡充に努めている。近年、新たに加わった美術作品も、江戸時代に諸外国から影響を受けて制作された近世異国趣味美術が多くを占める。2022年以降に収集された美術コレクションを中心に、作品にみられる異国への眼差しにも注目しながら紹介した。一方で、博物館では作品を収集することともに、それらを守り、次の世代へ伝えていくことも大切な使命の一つである。近年、修理を終えた作品も、合わせてお披露目した。

・出品点数：7件 ※展示作品リストは[当館HP](#)に掲載

## ■古地図

### 不思議な世界—仏教系世界図— 3月30日(土)～6月8日(土)

内容／かつて世界は須弥山（しゅみせん）という巨大な山を中心に広がっていると考えられていた。仏教の教えを説く『阿毘達磨俱舍論（あびだつまくしゃろん）』などによって語られる世界観にもとづいて描かれた世界図を、仏教系世界図と呼ぶ。近代以前の日本において、仏教系世界図は巷間に流布した世界図の一つである。いまの私たちからみるとちょっと不思議な世界の姿、仏教系世界図をご覧ください。

・出品点数：8件 ※展示作品リストは[当館HP](#)に掲載

## 温泉と絵図 6月22日(土)～8月25日(日)

内容／日本では、身体の治癒を目的とした入浴―湯治が古くからおこなわれてきたが、湯治は天皇や公家、武士など、一部の階級の人々に限られた文化であった。湯治が一般庶民にまで広まるのは、江戸時代のこと。交通網の整備などによって旅の環境が整い、多くの人々が湯治に出かけるようになった。それに伴って、地図にも温泉地が刻まれるようになる。各地の温泉地では、湯治客の土産物として温泉地の絵図が販売された。温泉地を描いた絵図類を通じて、江戸時代から明治時代にかけての入浴文化の一端に触れる機会となった。

- ・ 出品点数：11件 ※展示作品リストは[当館HP](#)に掲載

## 国絵図の系譜 9月14日(土)～12月8日(日)

内容／江戸幕府が開かれると、諸国の地勢や生産力を把握するため、旧国ごとの地図「国絵図」の編纂（へんさん）事業が行われた。幕府が所蔵していた国絵図は、一般庶民の目に触れることはなかったが、大名家に所蔵されていた控図や下図、またそれらの写図は全国各地に遺されている。本展では、こうした江戸幕府撰国絵図の系譜に連なる地図を紹介した。

- ・ 出品点数：7件 ※展示作品リストは[当館HP](#)に掲載

## 阪神・淡路大震災30年 災害の記録 12月24日(火)～2025年2月16日(日)

内容／平成7年(1995)1月17日、淡路島北部を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生した。神戸市では震度7を観測し、阪神地域および淡路島北部で甚大な被害が生じた。そして、平成23年3月11日の東日本大震災や、令和6年(2024)1月1日の能登半島地震など、日本は多くの地震に見舞われてきたことを踏まえ、近世日本で発生した地震をはじめとする災害の様子を描いた資料を紹介した。

- ・ 出品点数：6件 ※展示作品リストは[当館HP](#)に掲載

## ■びいどろ・ぎやまん・ガラス

### ちいさなガラス 3月30日(土)～6月8日(土)

内容／小さなものを愛（いづく）しむ感性は、いにしえより日本人の心に刻み込まれているのかもしれない。小さくても、雛道具やミニチュアのプレスガラスなどには、細密な技巧によって生み出された魅力がギュッと詰め込まれている。日々の暮らしの中で愛（め）でられた、小さくてかわいらしいガラス器を紹介した。

- ・ 出品点数：35件 ※展示作品リストは[当館HP](#)に掲載

### びいどろ・ぎやまんで宴 6月22日(土)～8月25日(日)

内容／「宴（えん・うたげ）」という言葉には楽しいイメージがある。そんな場に花を添えたのが、食べ物や飲み物を盛るための「器」である。光を透過する涼やかなガラスの器もその一つただだろう。長崎貿易を通じてもたらされた輸入ギヤマン、酒を飲み干すまで下に置けない可盃（べくはい）、10点、20点とセットで伝来する皿や向付など... 宴席で使用されたであろうガラス器を紹介した。

- ・出品点数：10件 ※展示作品リストは[当館HP](#)に掲載

### 和ガラス名品撰—近代編 9月14日(土)～12月8日(日)

内容／明治時代以降、西洋文化の流入とともに日本のガラス産業は発展を遂げてきた。明治9年(1876)に設立した日本初の官営ガラス工場・品川硝子製造所における外国人技師の招聘(しょうへい)をはじめ、西洋の製造技術や装飾技法が伝えられたことは大きな契機といえよう。大量生産に向けたプレスガラス、ホイール状の工具を用いて緻密なカットを施す切子をはじめ、エナメル彩、腐食、サンドブラストなどの新たな成形・装飾技法の確立は、江戸時代にはみられなかったガラス器の登場につながる。本展では、従前の技法を用いた過渡期の作例を含めて、明治時代以降につくられたガラス器を紹介した。

- ・出品点数：11件 ※展示作品リストは[当館HP](#)に掲載

### びいどろを飾る—ぎやまん彫り 12月24日(火)～2025年2月9日(日)

内容／ダイヤモンドのような硬い石をつけた棒状の工具を使い、ガラスの表面を削って装飾をほどこす「ぎやまん彫り」。この技法には、小さな点を刻んで意匠を施す「ステッピング」と線刻を連ねる「スクラッチング」と呼ばれる表現方法がある。まるで絵画のような装飾は、繊細優美そのもの。日本では、長崎貿易を通じてもたらされたヨーロッパ製のガラス器を参考に、ぎやまん彫りの技法は確立していったと考えられている。本展ではぎやまん彫りの作品を展示した。

- ・出品点数：10件 ※展示作品リストは[当館HP](#)に掲載

### 彩られたガラス 2月11日(火)～3月23日(日)

内容／多様な形や鮮やかな色など、様々な魅力をまとったガラス器はそれ自体で美しいもの。その中には、彩絵(さいえ)、焼付技法や蒔絵(まきえ)などによって、さらに彩(いろどり)を添えたものも製作された。ツルツルとしたガラスに絵付をするのは一見難しいように思われるが、膠や荏油、漆などを媒材とすることで絵や模様を施すことができる。ガラス本来の魅力と呼応するように響き合う美しい絵付のガラスを紹介した。

- ・出品点数：13件 ※展示作品リストは[当館HP](#)に掲載

## ■考古・歴史

### 描かれた神戸名所 長谷川小信錦絵特集 3月30日(土)～6月8日(土)

内容／長谷川小信(二代貞信、1848-1940)は、文明開化期の風景や風俗を題材にした開化錦絵を描き、神戸や大阪といった都市を舞台とした。和田岬や布引の滝など、古くから知られる名勝地を描いた作品の中には、新造の建築物などを共に描いており、神戸のハイカラな雰囲気を醸し出している。明治時代の神戸を鮮やかに描いた小信の作品を紹介した。

- ・出品点数：5件 ※展示作品リストは[当館HP](#)に掲載

#### 『源氏物語』へ一重なる、須磨の「物語」 — 6月22日(土)～8月25日(日)

内容／平安時代中期、紫式部によって著された長編物語、『源氏物語』。紫式部はこの『源氏物語』全54帖を、現在の神戸市域である須磨を舞台とした「須磨」(第12帖)から書き始めたといわれる。この「須磨」の筋運びの背景には、『源氏物語』成立以前に須磨を訪れた人々の「物語」が影響を与えている。本展では、これらの「物語」が源氏物語に与えた影響を、地誌や錦絵などを手掛かりにしながら読み解いた。

- ・ 出品点数：6件 ※展示作品リストは[当館HP](#)に掲載

#### 桜ヶ丘銅鐸・銅戈発見60年 銅鐸の源流 9月14日(土)～12月8日(日)

内容／桜ヶ丘銅鐸・銅戈群は、昭和39年(1964)12月10日、神戸市灘区桜ヶ丘町にて偶然発見され、昭和45年に一括して国宝に指定された。発見後の迅速な対応によって散逸することなく、保存修理・公開できたことは、この銅鐸・銅戈群にとって幸いなことだったといえる。銅鐸は弥生時代に日本で铸造された青銅器。その祖型(そけい)は中国や朝鮮半島に求められるが、銅鐸とはやや形状が異なっている。これまでの研究から、古くは中国の「銅鈴(どうれい)」とよばれていたものが、朝鮮半島から日本へ伝わり「銅鐸」へ独自に変化を遂げたとされる。

- ・ 出品点数：16件 ※展示作品リストは[当館HP](#)に掲載

#### 秀吉文書の移り変わり 12月24日(火)～2025年2月16日(日)

内容／天下人・太閤さんとして知られる、豊臣秀吉(1537-98)。彼が生涯に発給した文書の数、日本史上随一を誇る。それらを読み解き、分析することで、彼の出世や天下取りまでの道のり、人となりや周囲との人間関係などがうかがえる。そんな秀吉文書は、神戸に関係するものを中心に、当館にも所蔵されている。本展示ではそれらを展覧し、形態や書き方の移り変わりに注目して、秀吉の生涯に迫った。

- ・ 出品点数：7件 ※展示作品リストは[当館HP](#)に掲載

#### 中世の大きな土器—壺と甕— 2月18日(火)～3月23日(日)

内容／壺や甕(かめ)は「貯蔵具」と呼ばれ、酒や穀物のような、液体や固体のモノを貯める機能をもつ土器である。壺は口径が胴回りより小さいもの、甕は大型で口径が広く頸部(けいぶ・口部分と胴部分の間)が短いもの、とされている。日本では、甕は縄文時代に、壺は弥生時代に登場する。モノを貯めるという性質によって、運搬に向けた小型のものから地面に埋めて貯蔵する大型のものまで、さまざまな大きさの壺・甕が作られた。本展では壺や甕などを展示した。

- ・ 出品点数：8件 ※展示作品リストは[当館HP](#)に掲載

#### (4) 情報コーナー

- ・ 当館の所蔵品などに関連した図書を配架している。
- ・ デジタルアーカイブを閲覧することができる情報端末を3台設置している。

(5) 体験学習室
①展示
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土器や銅鐸のレプリカ、遣唐使船模型、竪穴住居模型等を引き続き展示し、神戸の歴史や文化に親しんでもらえるような展示を常時行っている。</li> </ul>
②教材・資材・書籍
<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩化ビニル樹脂製パズル、年表パズルシート等を引き続き設置している。</li> <li>・歴史や美術、文化に関する書籍をいつでも読むことができるよう配架している。</li> </ul>
③利用状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開館時には常時開室し、来館者は無料で入室できる。</li> <li>・学習支援交流員が定期的に案内やワークショップを実施している。</li> <li>・学習支援交流員のワークショップ：34回</li> <li>・特別展開催時のジュニアミュージアム講座、夏休み特別イベント（浮世絵摺り体験会）、ナイトタイムミュージアムのワークショップ開催時には会場として使用している。</li> </ul>

## 2. 特別展

### (1) 第 148 回特別展

## 特別展「Colorful JAPAN—幕末・明治手彩色写真への旅」

#### ・内 容／

日本の開国後、幕末から明治時代にかけて、これまで交流のなかった諸外国の人々が、来日するようになった。未知の日本文化を目にした彼らの需要に応え、フェリーチェ・ベアト、ライムント・フォン・シュティルフリート、臼井秀三郎、日下部金兵衛、アドルフォ・ファルサーリ、玉村康三郎らの写真館では、日本の名所や風俗を撮影した写真を販売した。それらの写真はしばしば、1点1点精緻に彩色され、カラー写真と見紛うような「手彩色写真」に仕上げられて、豪華な蒔絵表紙のアルバムに綴じ込まれた。被写体の選定、巧みな構図と美しい彩色は、現実の日本そのものではなく、東洋の神秘「JAPAN」のイメージを作り上げていった。

本展では、幕末・明治期に撮影され、手彩色が施された写真と関連資料約 150 点を一堂に展覧し、手彩色写真のもつ唯一無二の美を通して、時代を超えて人々を魅了する「JAPAN」の姿を紹介した。手彩色写真についての理解を深め、実物の色合いを感じていただけるまたとない機会となった。

- ・会 期：令和 6 年（2024）3 月 30 日（土）～5 月 19 日（日）【45 日間】  
※会期中展示替えあり  
前期：3 月 30 日（土）～4 月 28 日（日） 後期：4 月 29 日（月・祝）～5 月 19 日（日）
- ・会 場：南蛮美術館室、特別展示室 2
- ・主 催：神戸市立博物館、NHK 神戸放送局、NHK エンタープライズ近畿、毎日新聞社
- ・協 賛：公益財団法人 日本教育公務員弘済会 兵庫支部
- ・後 援：Kiss FM KOBE
- ・特別協力：長崎大学附属図書館
- ・協 力：一般財団法人 神戸観光局、神戸新聞旅行社、株式会社ポトマック
- ・入 場 料：当日・一般 1,200 円
- ・入場者数：15,076 人
- ・出品点数：152 件 ※出品目録は[当館 HP](#)に掲載
- ・関連事業：p.64 に掲載
- ・令和 5 年度～令和 6 年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業





JAPAN CULTURAL EXPO 20



令和5年度地域核の文化資産を活用した展覧会支援事業

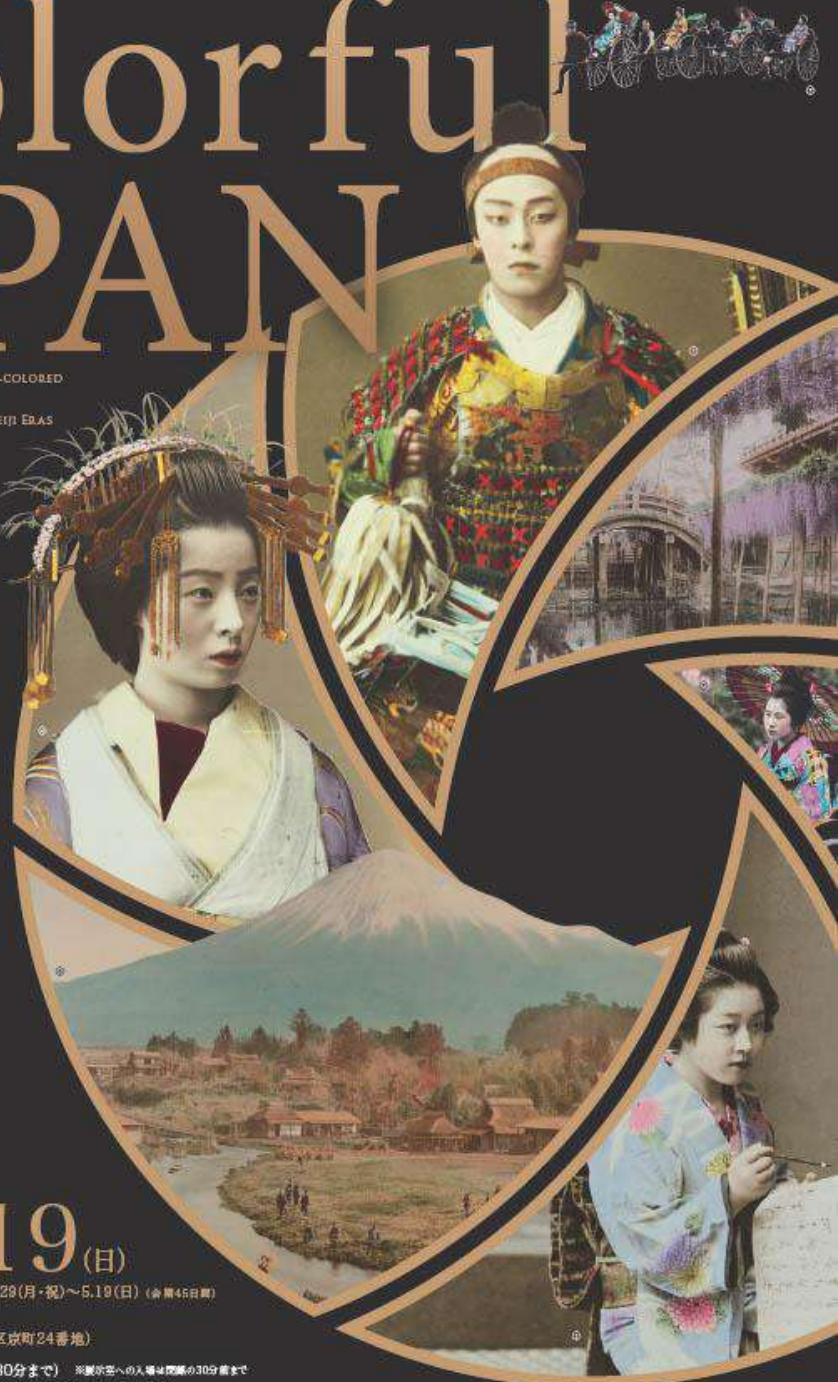
特別展 | 幕末・明治手彩色写真への旅

# Colorful JAPAN



THE UNIQUENESS OF HAND-COLORED JAPANESE PHOTOGRAPHY IN THE BAKUMATSU AND MEIJI ERAS

憧れの日本へ、いざ。



2024.  
3.30(土)~5.19(日)

【前期】2024.3.30(土)~4.28(日) 【後期】2024.4.28(月・祝)~5.19(日) (全期46日)  
※会期中、一部の作品は展示替えがあります。

【会場】神戸市立博物館 (神戸市中央区京町24番地)

【開館時間】9時30分~17時30分(金・土曜日は19時30分まで) ※観覧券への入場は開館の30分前まで

【休館日】月曜日[ただし4月29日(月・祝)と5月6日(月・振替)は開館]、5月7日(火)

【主催】神戸市立博物館、NHK神戸放送局、NHKエンタープライズ近畿、毎日新聞社

【協賛】公益財団法人 日本教育公務員弘済会 兵庫支部 【後援】Kiss FM KOBE

【特別協力】長崎大学附属図書館 【協力】一般財団法人 神戸観光局、神戸新聞旅行社、株式会社ポトマック

①287 GENERAL、江戸幕末民衆、明治時代中期、ビートル・セル・写真 ②116 WRITING LETTER、江戸幕末民衆、明治時代中期、ビートル・セル・写真  
③A-490 WISTERIA VINE、玉村眞三郎、明治時代中期~後期、ビートル・セル・写真 ④「大天」、明治時代、ビートル・セル・写真  
⑤「徳島藩」、明治時代、ビートル・セル・写真 ⑥301 RUIDAMA FROM OMIYA VILLAGE、江戸幕末民衆、明治時代中期、東京府写真館蔵  
⑦2058 CHERRY BLOSSOMS AND JINRUSHI3A3、江戸幕末民衆、明治時代中期~後期、東京府写真館蔵 (全て部分、複製販売)



神戸市立博物館  
Kobe City Museum

ちらし 表

# 世界が魅せられた東洋の神秘「JAPAN」

日本の開国後、幕末から明治時代にかけて、これまで交流のなかった諸外国の人々が来日するようになりました。未知の日本文化を目にした彼らの需要に応え、フェリーチェ・ベアト、ライムント・フォン・シュティルフリート、白井秀三郎、目下郁金兵衛、アドルフ・ファルサーリ、玉村康三郎らの写真館では、日本の人々や風景を撮影した写真を販売しました。カラー写真がまだ普及していなかった当時、それらの写真はしばしば、1点1点精緻に彩色され、「手彩色写真」に仕上げられて、豪華な時絵表紙のアルバムに綴じ込まれました。顧客の目を驚かせて興味をそそる被写体の選定、巧みな構図と美しい彩色は、現実の日本そのものではなく、東洋の神秘「JAPAN」のイメージを作り上げていきます。本展では、幕末・明治期に撮影され、手彩色が施された写真と関連資料約150点を一堂に展覧し、その唯一無二の美を通して、時代を越えて人々を魅了する「JAPAN」の姿をご紹介します。実物の色合いを感じていただけるこの機会を、ぜひご体験ください。

①② 手彩色写真



本展出品作品の美しい色合いは、人の手で精緻に彩色することによって作り出されています。この2枚は同じ写真ですが、彩色の差により、印象が大きく異なります。

③ アルバム



④ 写真館



①②「女性の像」 明治時代ビュール・セルネ氏蔵(複製) ③「日本の風景等々美観」 明治時代内田一典蔵 神戸市立博物館蔵(複製) ④「アルファリー商会写真館(日本輸入商人会より)の建物」 明治19年(1886) 神戸市立博物館蔵(複製)

⑤ 着物



⑥ 武将



⑦ 筆で手紙を書く



⑧ 番町



⑤「(夫) 明治時代 ビュール・セルネ氏蔵(複製) ⑥「GENERAL」 目下郁金兵衛 明治時代内田一典蔵 ビュール・セルネ氏蔵(複製) ⑦「WRITING LETTER」 目下郁金兵衛 明治時代中期 ビュール・セルネ氏蔵(複製) ⑧「(盛装) 明治時代 ビュール・セルネ氏蔵(複製) ⑨A 1205, B1205「KOBÉ」 (神戸市街美観より) 目下郁金兵衛 明治時代中期(複製) ⑩300「FUJYAMA FROM OMIYA VILLAGE」 目下郁金兵衛 明治時代中期 東京都写真美術館蔵(複製) ⑪A 499「W YST BRIA VINE」 玉村康三郎 明治時代中期〜後期 ビュール・セルネ氏蔵(複製) ⑫2099「CHERRY BLOSSOMS AND JINRIKISHAS」 目下郁金兵衛 明治時代中期〜後期 東京都写真美術館蔵(複製)



⑨ 富士山



⑩ 神戸天神・藤太神社



⑪ 桜・電車・人力車



## 関連事業 記念講演会

①「異色のスペクタクル―世界写真史における日本の手彩色写真」  
日時 4月6日(土)14時~15時30分(開場は13時から)  
講師 佐藤守弘氏(神戸大学文学部東洋学専攻教授)  
②「Colorful JAPAN」  
日時 4月27日(土)14時~15時30分(開場は13時から)  
講師 水嶋彩乃(複製学芸員)  
※日と: お昼日、13時から講演会と複製学を記念  
会場 神戸市立博物館 地階講堂  
定員 140名(当日先着順)  
参加費 無料(ただし、当日ご使用いただける本展観覧券が必要)

## 学芸員による展示解説会

日時 会期中の土曜日 17時~17時30分(開場は16時30分から)  
会場 神戸市立博物館 地階講堂  
定員 140名(当日先着順)  
参加費 無料(ただし、当日ご使用いただける本展観覧券が必要)  
※会期中、この日の関連事業も開催予定です。詳細は編年ホームページをご覧ください。

## 関連書籍「神戸の仏教地蔵―旧居留地×異世界巡り」

会場 神戸市立博物館 3階 特別展示室1  
※予約販売券がおすすめです(一般300円、大学生150円)コレクション展示室と共通。

観覧料 一般1,200円(1,000円)  
大学生600円(400円) ※税別(税込1770円)

※団体は20名以上 ※神戸市在住で満85歳以上の方は観覧料の半額(要証明) ※障害のある方は障害者手帳などの提示で無料 ※前売券は2024年1月30日(火)から3月20日(金)まで販売。

チケット販売場所: 本展オンラインチケット、ローソンチケット(コード: S1909)、チケットぴあ(コード: 888-894)、イープラス、セブンチケット(セブンコード: 103-488) ※チケット購入時に手数料がかかる場合があります。

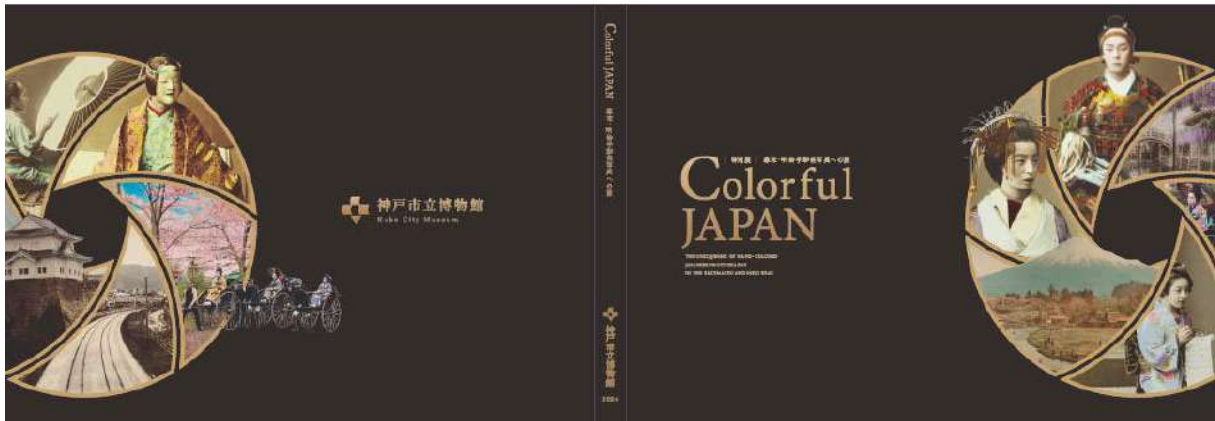
詳細は神戸市立博物館ホームページをご覧ください。 神戸市立博物館ホームページ

## 神戸市立博物館

Kobe City Museum  
〒750-0034 神戸市中央区南1丁目24番地  
TEL 078-394-0095 FAX 078-393-7064  
SNS Facebook: X(Twitter): @kobemuseum  
Instagram: kobemuseum

●JR「三宮」駅、阪急「阪神三宮」駅、神戸市営地下鉄(神・山手線)、ポートライナー「三宮」駅から南西へ徒歩約10分 ●JR「阪神元町」駅から南東へ徒歩約10分 ●神戸市営地下鉄(海岸線)「旧居留地・大丸」駅から南東へ徒歩約8分 ●新幹線「新神戸」駅から神戸市営地下鉄(神・山手線)に乗換え、「三宮」駅下車 ●神戸空港からポートライナーで三宮駅下車 ※博物館には駐車場がありません。お近くの有料駐車場をご利用ください。





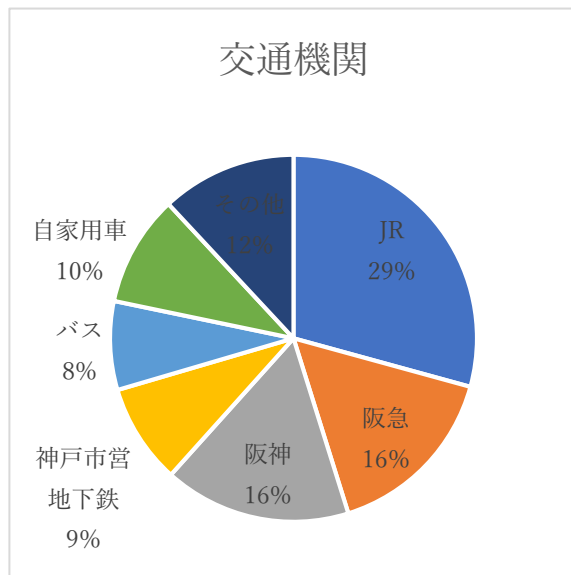
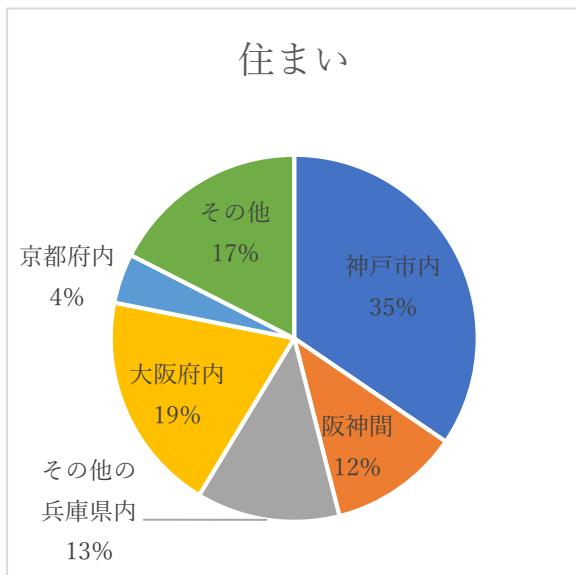
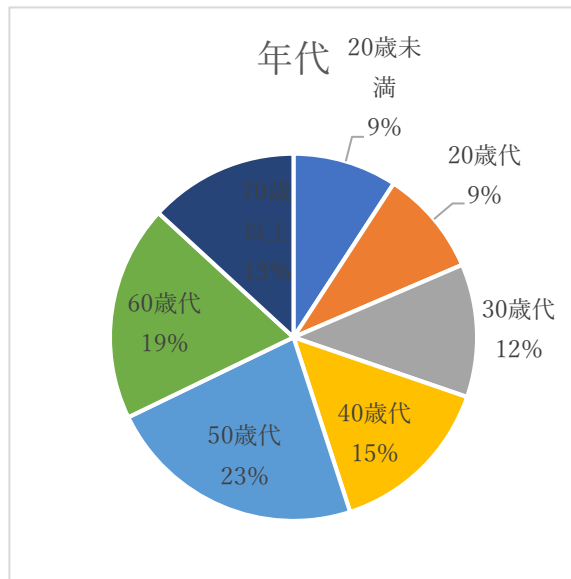
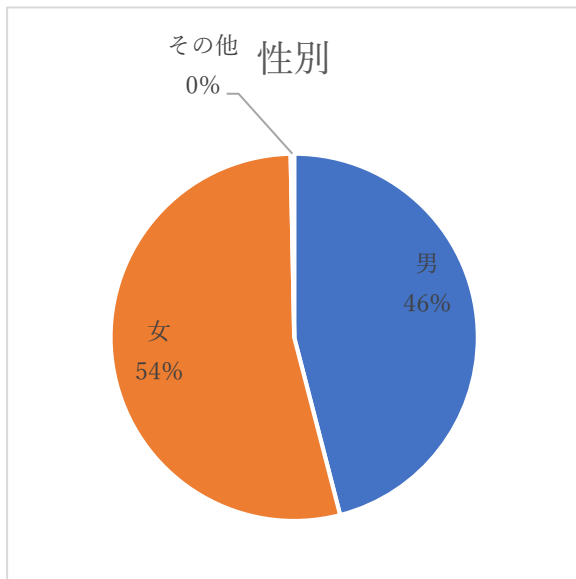
図録 表紙

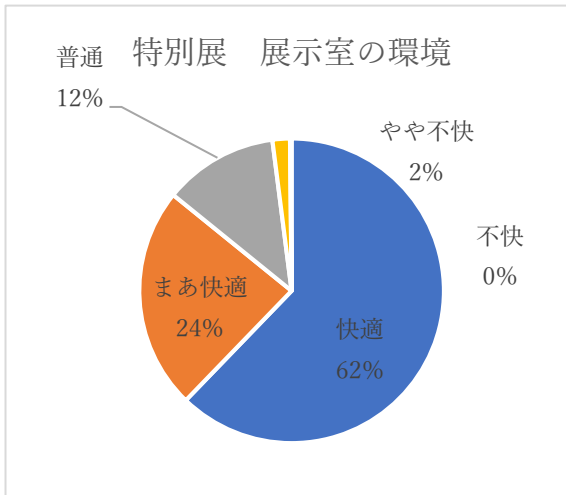
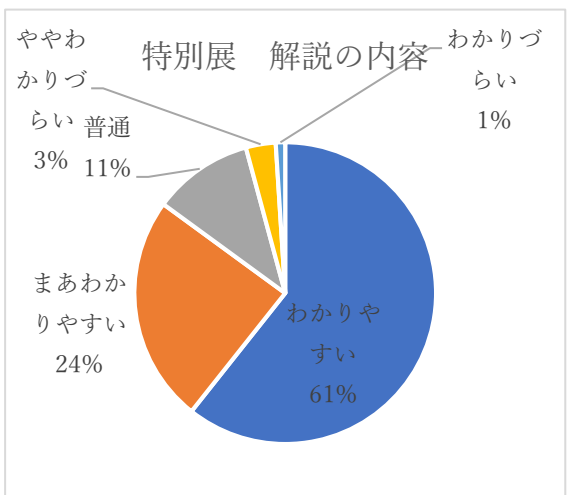
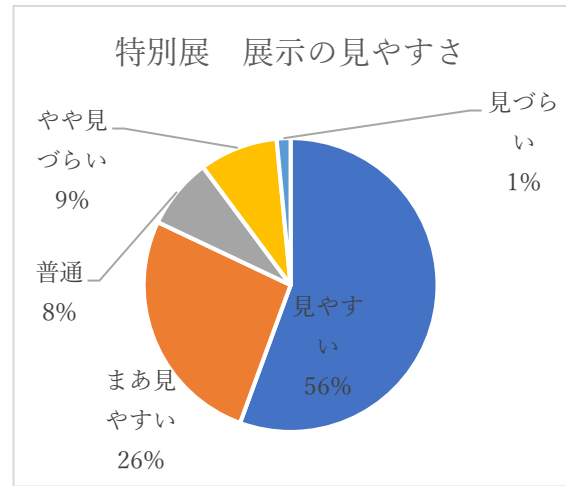
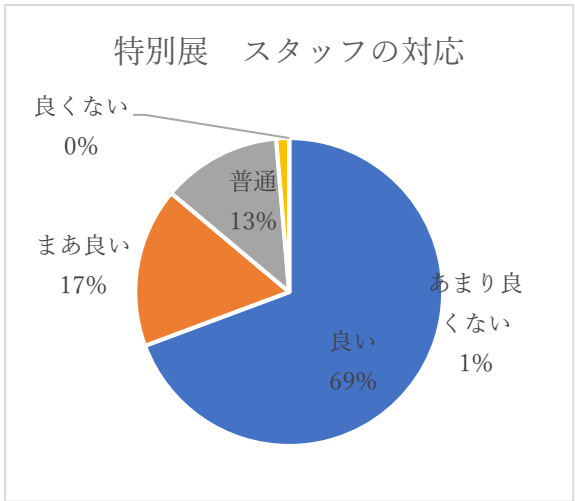
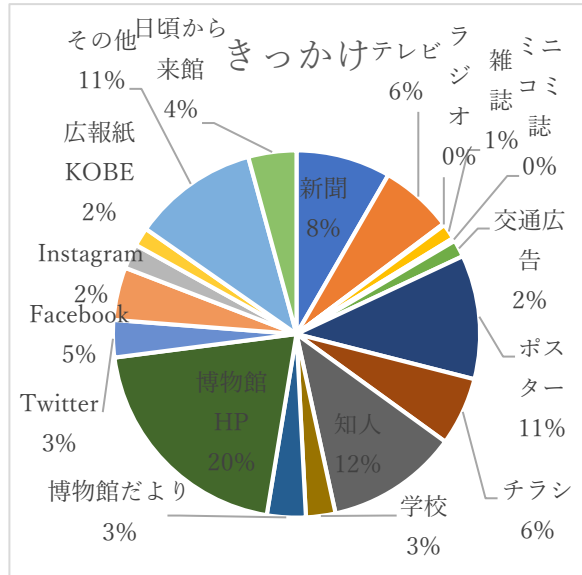
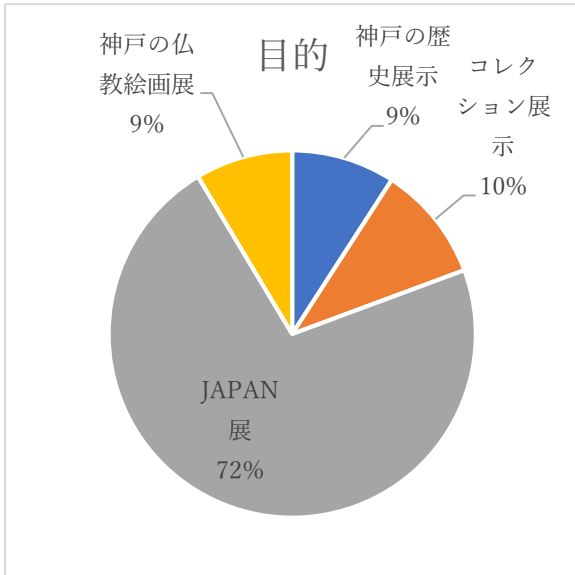


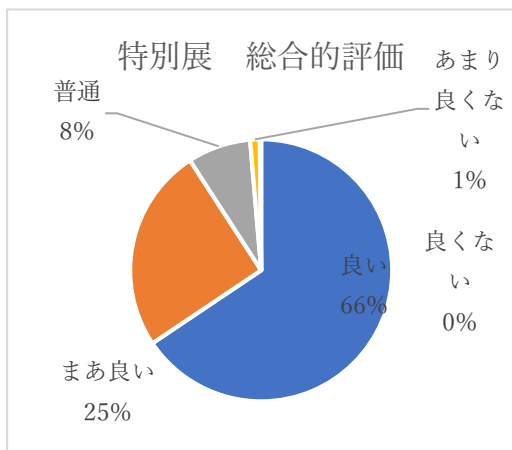
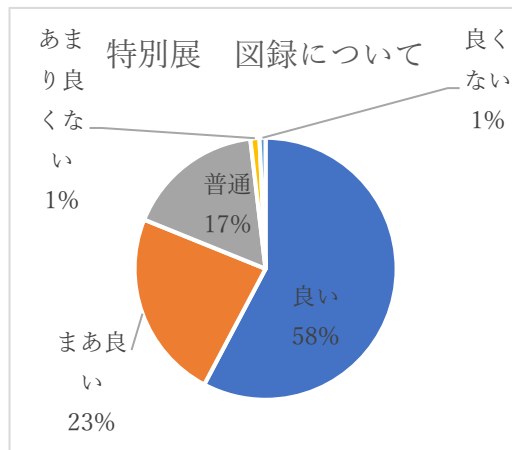
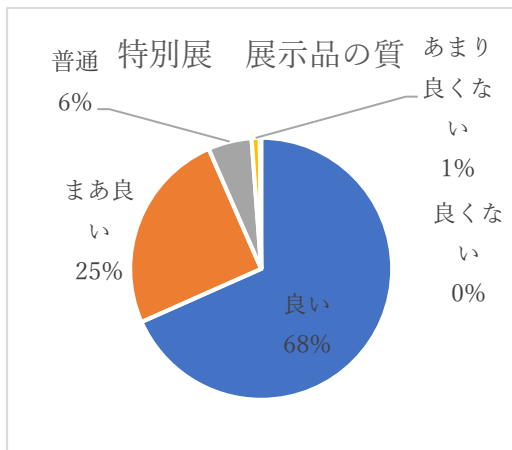
こどものための鑑賞ガイド

## アンケートの結果（回答者：641人）

アンケート方法：展覧会期間中、観覧を終えた希望者による記入







特別展「テルマエ展 お風呂でつながる古代ローマと日本」

・内 容／

人類史上に輝く繁栄を誇った古代ローマ。なかでも日本人が深い関心をよせるもののひとつがテルマエである。テルマエは古代ローマの高度な建築・土木技術の証であると同時に、彼らの豊かな暮らしの象徴として捉えられている。それはひとえに、日本で公衆浴場がこよなく愛されているからに他ならない。『ローマ十四区総覧』（Curiosum urbis Romae と Notitia urbis Romae）によれば、4世紀のローマ市にはテルマエが11、小規模なバルネウム(pl. balnea)が856～951もあったというが、日本では家庭内の風呂が当たり前になった現在でも、東京だけで約700軒の公衆浴場が存在する。日本はまた、イタリアと同様に火山国でもあり、天然の温泉が多く湧出している。各地の温泉は観光地としても人気があり、今も昔も多くの旅行者や湯治客を集めている。

本展では、ヤマザキマリ『テルマエ・ロマエ』の主人公ルシウスが案内人として、解説パネル等に登場する。日本における古代ローマ研究の第一人者である青柳正規氏、芳賀京子氏の監修と、ヤマザキマリ氏のご協力により、鑑賞者が古代ローマをより身近に感じていただくことができた。

また本展の開催館には、国内有数の温泉地のある地域が含まれており、それぞれの地域には、地方色豊かな温泉の歴史が残されている。加えて日本では江戸時代、古代ローマのように市民が通う公衆浴場が広まった。温泉そして公衆浴場にも触れ、日本の浴場文化とその歴史もあわせて紹介した。『テルマエ・ロマエ』の主人公ルシウスが、浴場をとおして日本とローマを往復したように、それぞれの浴場文化を体感することのできる機会となった。

・会 期：令和6年（2024）6月22日（土）～8月25日（日）【56日間】

※会期中展示替えあり

前期：6月22日（土）～7月28日（日） 後期：7月30日（火）～8月25日（日）

・会 場：特別展示室1、南蛮美術館室、特別展示室2

・主 催：神戸市立博物館、神戸新聞社、朝日新聞社

・後 援：イタリア大使館、サンテレビジョン、ラジオ関西

・協 賛：神戸サウナ&スパ、公益財団法人 日本教育公務員弘済会 兵庫支部、一般財団法人  
みなと銀行文化振興財団

・特別協力：イタリア文化会館-大阪

・協 力：ヤマザキマリ（マンガ家、エッセイスト）、アトラ協同組合、一般社団法人有馬温泉観光協会、一般財団法人 神戸観光局、神戸市浴場組合連合会、神戸新聞旅行社、株式会社ポトマック

・監 修：青柳正規氏（山梨県立美術館館長、東京大学名誉教授）、  
芳賀京子氏（東京大学大学院教授）

・入 場 料：当日・一般1,800円

・入場者数：27,920人

・出品点数：154件 ※出品目録は[当館HP](#)に掲載

・関連事業：p.64に掲載

・令和6年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業





# テルマエ展

お風呂でつながる古代ローマと日本

THERMAE: ANCIENT ROME, JAPAN, AND THE JOY OF BATHING

2024.6.22 / sat - 8.25 / sun ※会期中、  
展示替えがあります

前期：6月22日(土)～7月28日(日) 後期：7月30日(火)～8月25日(日)

休館日：月曜日 7月16日(火)、8月13日(火) ※ただし7月15日(月・祝)、8月12日(月・振休)は開館

開館時間：9時30分～17時30分 ※金曜日と土曜日は20時まで(入場は閉館の30分前まで)

主催：神戸市立博物館、神戸新聞社、朝日新聞社 後援：イタリア大使館、サンテレビジョン、ラジオ関西 協賛：神戸サウナ&スパ、公益財団法人 日本教育公務員弘済会 兵庫支部、一般財団法人みさと銀行文化振興財団 特別協力：イタリア文化会館・大阪 協力：ヤマザキマリ、アトラ協同組合、一般社団法人有馬観光協会、一般財団法人神戸観光局、神戸市浴場組合連合会、神戸新聞旅行社、株式会社ボトマック

①カテカテ複製 212～217年 ナポリ国立考古学博物館蔵 Photo © Luciano and Marco Pedicini (複製) ②銅像の少年 1世紀 ナポリ国立考古学博物館蔵 Photo © Luciano and Marco Pedicini (複製) ③美ら島のヴィーナス 1世紀 ナポリ国立考古学博物館蔵 Photo © Luciano and Marco Pedicini (複製) ④金製指輪 1～2世紀 国立西洋美術館蔵(複製コレクション) ⑤上野銅像(複製)のライオン頭部のはずり口 1世紀 ナポリ国立考古学博物館蔵 Photo © Luciano and Marco Pedicini (複製) ⑥アパロとエンツァへの奉納彫刻 2世紀 ナポリ国立考古学博物館蔵 Photo © Luciano and Marco Pedicini (複製) ⑦内裏書 京都西京寺蔵(複製) 江戸時代 兵庫県立歴史博物館蔵(複製) ⑧和服用道具 伊豆保良院蔵(複製) 明治16年(1883) 神戸市立博物館蔵(複製) ⑨書生書 横山時代 神戸市立博物館蔵(複製) コレクション(複製) ⑩浴場方巻 阿波朝平中行事之内蔵複製(複製) 明治元年(1868) 神戸市立博物館蔵(複製) ⑪浴場方巻(複製) ⑫浴場方巻(複製)



令和6年度地域中核の文化資産を活用した展覧会支援事業

ちらし 表

# 博物館で、バスタイム。

人類史上に輝く繁栄を誇った古代ローマ。なかでも日本人が深い関心をよせるものの一つがテルマエ(公共浴場)であり、ヤマザキマリ氏による漫画『テルマエ・ロマエ』はテルマエへの親近感をより一層高めました。本展では、絵画・彫刻・考古遺物といった100件以上の作品と映像や模型などを通して、テルマエを愛した古代ローマの人々の生活をご紹介します。また、古代から現代にかけての日本の入浴文化、そして神戸の名湯有馬温泉についても取りあげます。『テルマエ・ロマエ』の主人公ルシウスが浴場をとおして日本とローマを往復したように、それぞれの浴場文化を体験することのできる機会となるでしょう。

古代ローマの  
優雅な暮らし



ヘタイラ(遊女)のいる貴室  
1世紀 ナポリ国立考古学博物館蔵  
Photo © Luciano and Marco Padellini  
〔通期〕

これは何の道具？  
テルマエに必須の垢すり



ストリギリス(乳かき器)  
前3～前1世紀  
ポーラ文化研究所蔵  
〔通期〕

神戸の名湯、有馬温泉を  
こよなく愛した豊臣秀吉



豊臣秀吉像  
桃山時代  
神戸市立博物館蔵(池長孟コレクション)  
〔後期〕

江戸の華の喧嘩は女風呂でも



落合芳庵 時世絵年中行事之内覧御園書物風呂  
明治元年(1868)  
神戸市立博物館蔵(池長孟コレクション)  
〔前期〕

テルマエで  
くつろぎながら  
アートを楽しむ



ヘラクレス小像  
前1～前2世紀  
MIHO MUSEUM蔵  
〔通期〕

## 関連イベント

※事前申込制

6/22(土)  
14時～15時30分  
漫画『テルマエ・ロマエ』作者  
ヤマザキマリ氏  
トークショー



6/23(日)  
14時～16時  
イタリヤ文化会館-大阪特別協力  
「珠玉のパロック ヴァイオリン &  
チェンバロ コンサート」  
演奏: マウロ・イウワート (Vi.)  
パブロ・エスカンア (Cemb.)



場 所 神戸市立博物館 地階 講堂  
定 員 140名(事前申込、応募者多数の場合は抽選)  
参 加 費 無料(当日ご使用いただける本展観覧券が必要)  
申 込 期 間 4月23日(火)～5月24日(金)  
申 込 方 法 おでかけKOBE(上記二次元コード)から申し込み

## 学芸員による展示解説会

日 時 毎週土曜日 17時～17時30分(開場は16時30分)  
場 所 神戸市立博物館 地階 講堂  
定 員 140名(当日受付、先着順)  
参 加 費 無料(当日ご使用いただける本展観覧券が必要)

入  
場  
料  
一般1,800円(1,600円)  
大学生900円(800円)

※高校生以下無料 ※( )内は団体(20名以上)・前売券の  
料金 ※歳65歳以上で神戸市在住の方は、当日券売窓口  
にて証明書の提示で当日一般料金が半額 ※障害のある  
方は障害者手帳などの提示で無料 ※前売券は4月22日  
(月)～6月21日(金)まで販売。

主なチケット販売場所: チケットぴあ(PCコード:  
686-870)、ローソンチケット(Lコード:  
51607)、セブンチケット(セブンコード:  
104-877)、楽天チケット、イープラス、CNプレイ  
ガイド、アンビュ(ほかで販売のチケット  
購入時に手数料がかかる場合があります)。  
詳細は神戸市立博物館ホームページをご確認ください。



多岐オンライン  
チケット(ota)

神戸市立博物館  
Kobe City Museum  
〒650-0034 神戸市中央区北長町24番地  
TEL 078-391-0035 FAX 078-392-7054  
SNS: facebook/kcm, @kobemuseum,  
instagram: kobemuseum



博物館HP



- JR「三ノ宮」駅、阪神「神戸三宮」駅
- 神戸市営地下鉄(西神・山手線)「第一ライナー」三宮駅から徒歩約10分
- JR「阪神」駅(新神戸)から徒歩約10分
- 神戸市営地下鉄(海岸線)「旧居留地」大丸前駅(旧居留地)から徒歩約8分
- 新幹線「新神戸」駅から神戸市営地下鉄(西神・山手線)に乗換え、「三宮」駅下車
- 神戸市営地下鉄「第一ライナー」で三宮駅下車

※博物館には駐車場がございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。



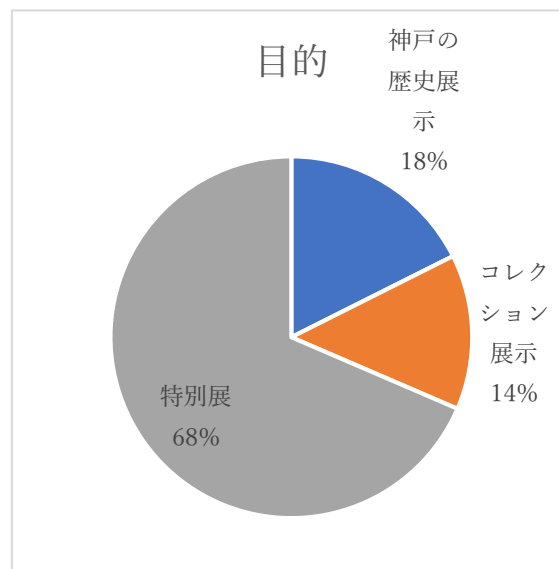
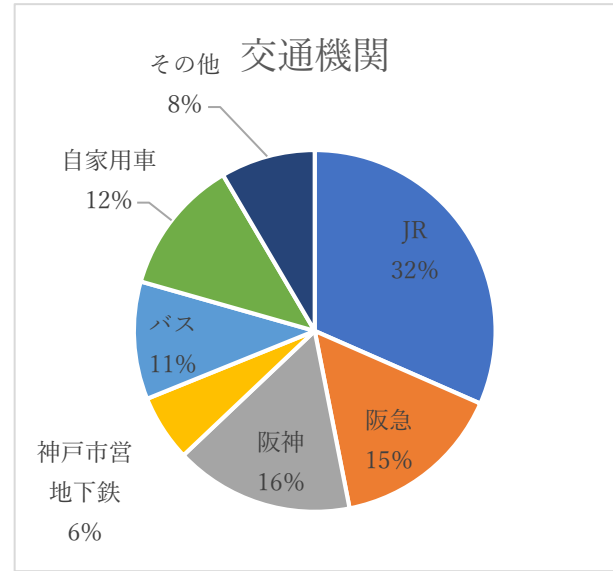
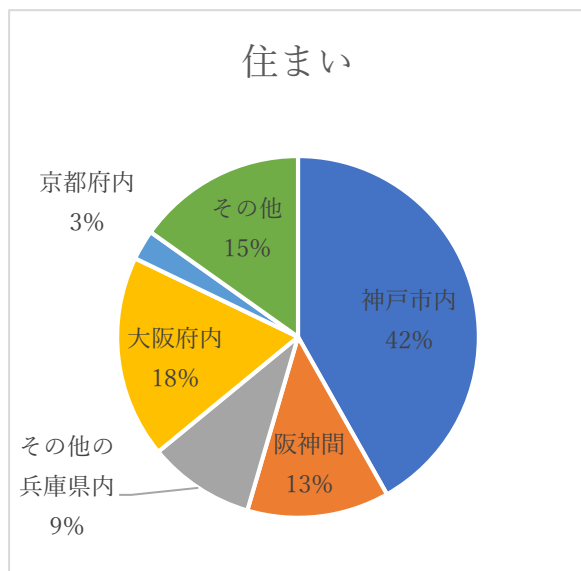
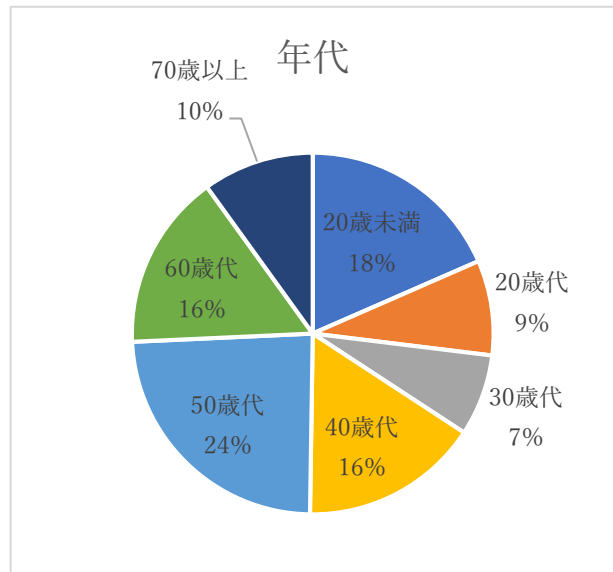
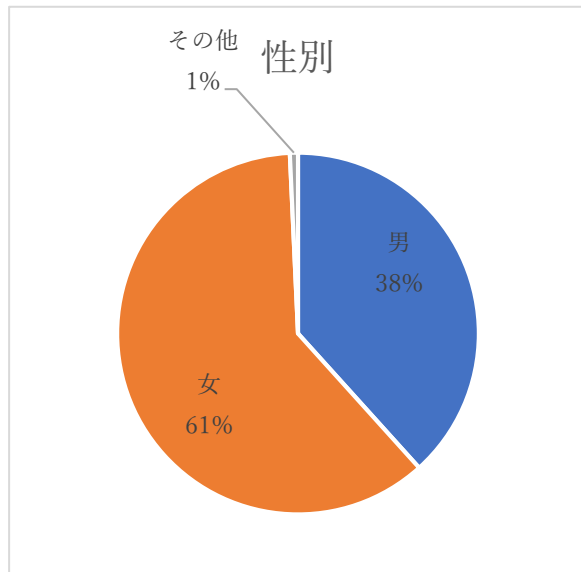
図録 表紙

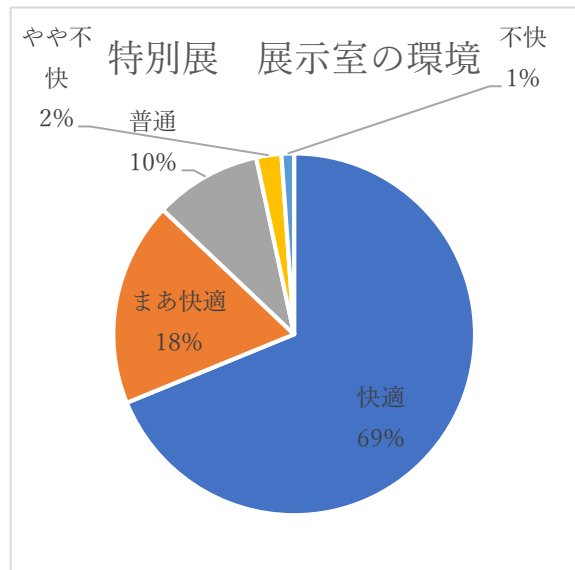
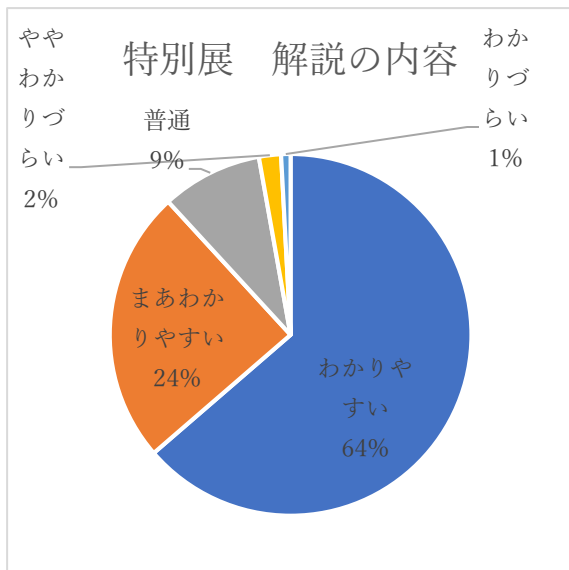
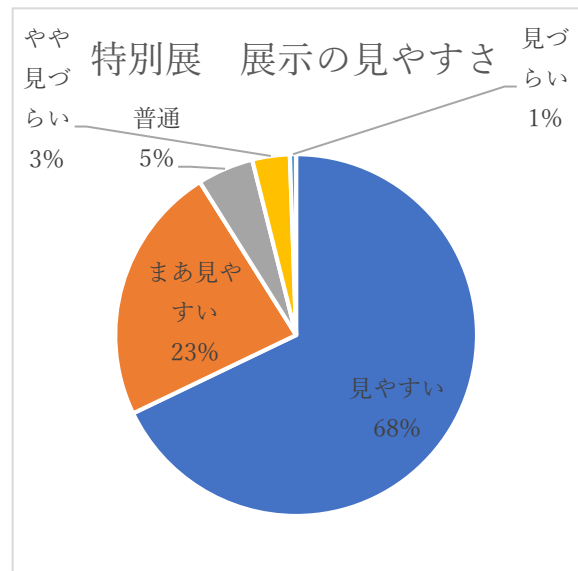
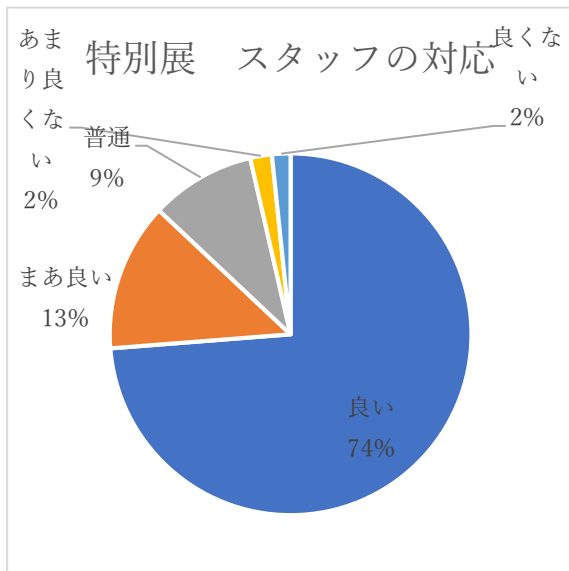
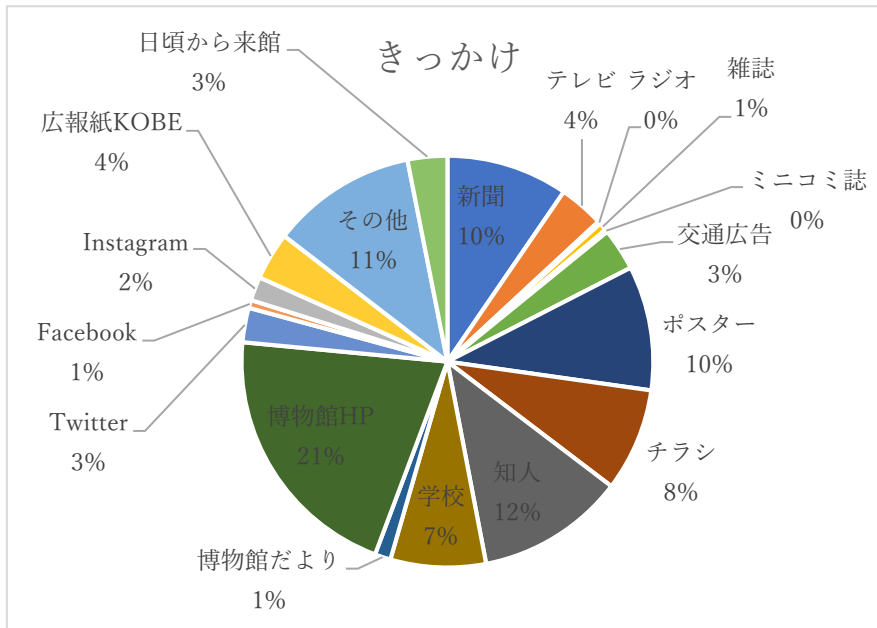


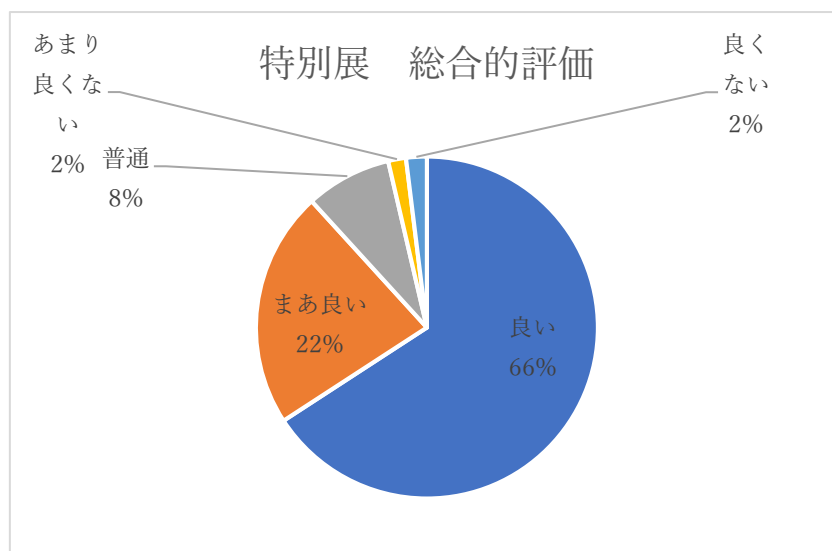
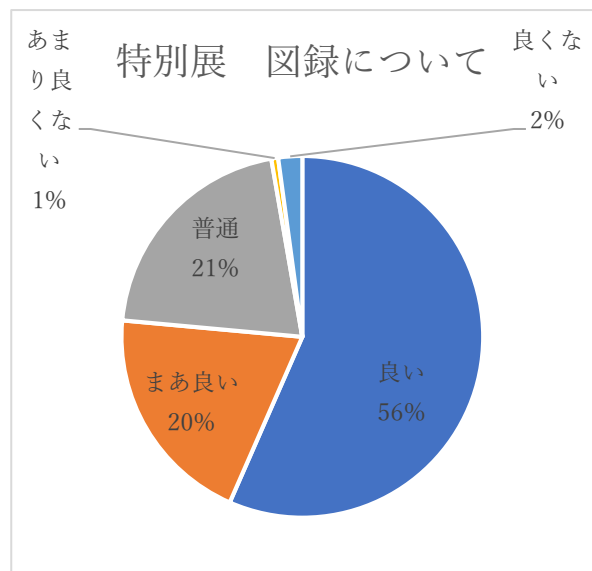
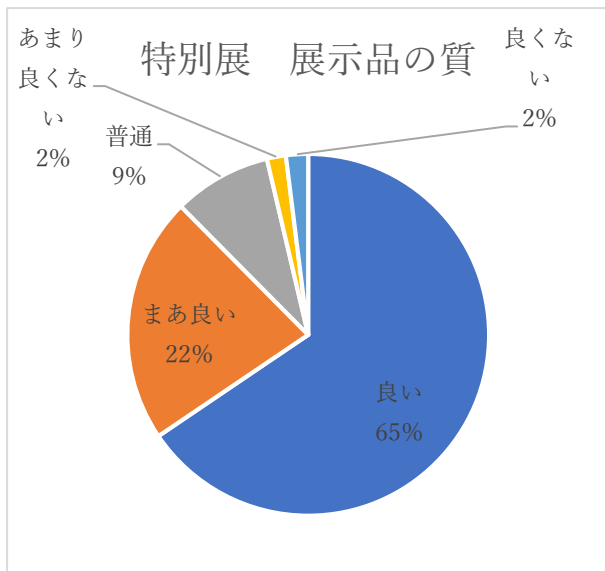
こどものための鑑賞ガイド

# アンケートの結果（回答者：419人）

アンケート方法：展覧会期間中、観覧を終えた希望者による記入







特別展「デ・キリコ展」

・内 容／

イタリア人の両親のもとギリシャで生を受けたジョルジョ・デ・キリコ (1888-1978)。1910年頃から、簡潔明瞭な構成で広場や室内を描きながらも、歪んだ遠近法、一見すると脈絡のないモチーフの配置、幻想的な雰囲気によって、日常の奥に潜む非日常を表した絵画を描き始めた。後に「形而上 (けいじじょう) 絵画」と名付けた 1910年代の作品は、サルバドール・ダリやルネ・マグリットといったシュルレアリスムの画家をはじめ、数多くの芸術家に衝撃を与えた。

本展はデ・キリコのおよそ 70 年にわたる画業を「イタリア広場」「形而上的室内」「マヌカン」などのテーマに分け、初期から晩年までの絵画を余すところなく紹介。さらに彼が手掛けた彫刻や舞台美術も展示する、日本ではかつてない規模の回顧展である。

- ・会 期：令和 6 年 (2024) 9 月 14 日 (土) ～12 月 8 日 (日) 【74 日間】
- ・会 場：特別展示室 1、南蛮美術館室、特別展示室 2
- ・主 催：神戸市立博物館、朝日新聞社、関西テレビ放送
- ・後 援：イタリア大使館
- ・特別協賛：大和証券グループ
- ・協 賛：大和ハウス工業、NISSHA
- ・企画協力：ジョルジョ・エ・イーザ・デ・キリコ財団、メタモルフオジ財団
- ・特別協力：イタリア文化会館・大阪
- ・協 力：日本航空、日本貨物航空、ルフトハンザ カーゴ AG、ITA エアウェイズ
- ・入 場 料：当日・一般 2,000 円
- ・入場者数：76,685 人
- ・出品点数：107 点 ※出品目録は[当館 HP](#)に掲載
- ・関連事業：p.65 に掲載

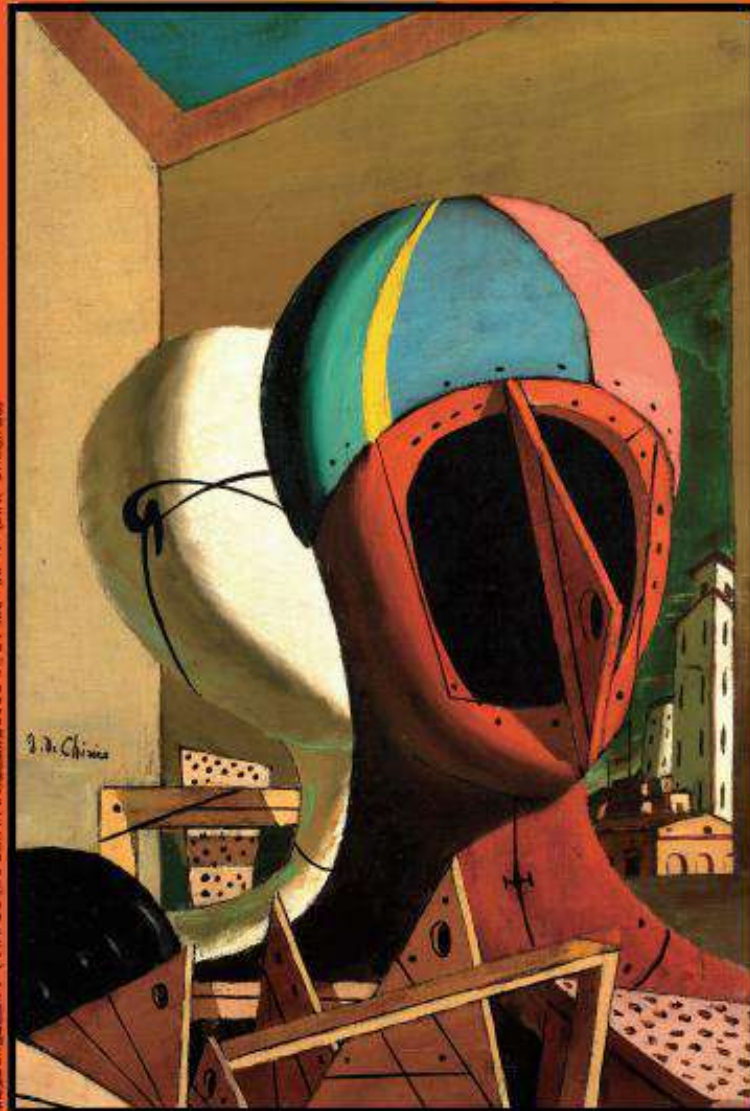




9.14 (土) <sup>2024</sup> 12.8 (日) 神戸市立博物館

デ・キリコ展

Giorgio De Chirico: Metaphysical Journey



【複製】「メタフィジカル・ジャーニー」 1924年、神戸市立博物館蔵。© 2024 Giorgio De Chirico. All rights reserved. © 2024 Kobe City Museum. All rights reserved. © 2024 The Trustees of the Giorgio De Chirico Foundation. All rights reserved. © 2024 The Trustees of the Giorgio De Chirico Foundation. All rights reserved.

不思議の世界へ、ようこそ。

KOBE CITY MUSEUM

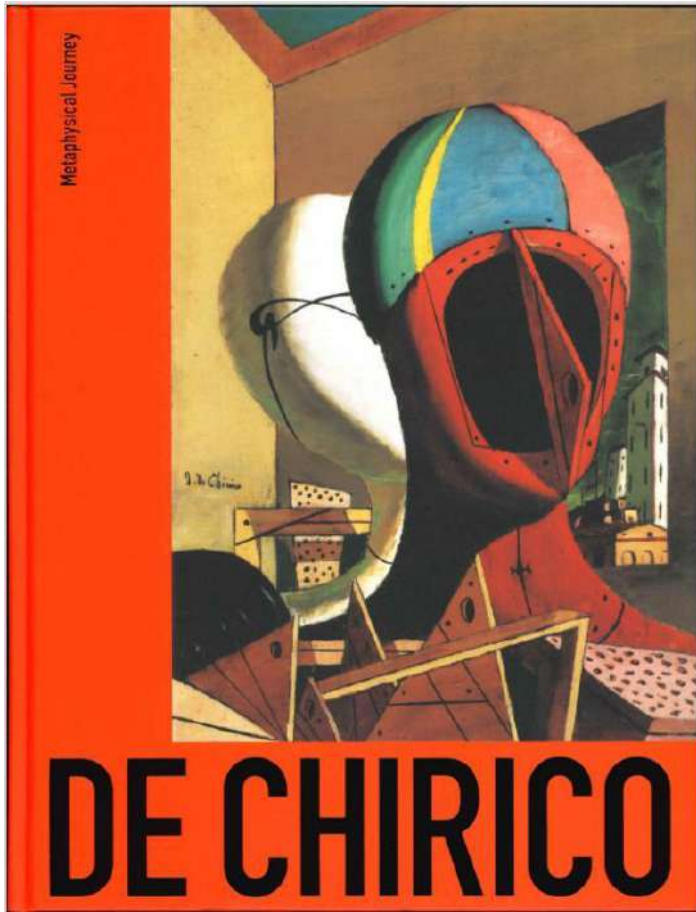
|公式サイトURL| <https://dechirico.exhibit.jp/> |問い合わせ先| 078-391-0035 |最新情報は本館公式サイト等でお知らせします。

- |主催| 神戸市立博物館、朝日新聞社、関西テレビ放送
- |後援| イタリア大使館
- |特別協賛| 大和証券グループ
- |協賛| 大和ハウス工業、MISSHA
- |協力| シェルジュ・エーザー・デ・キリコ財団、メタモルフォシズム財団、日本航空、日本貨物航空、ルフトハンザグループAG、JALエアウェイズ

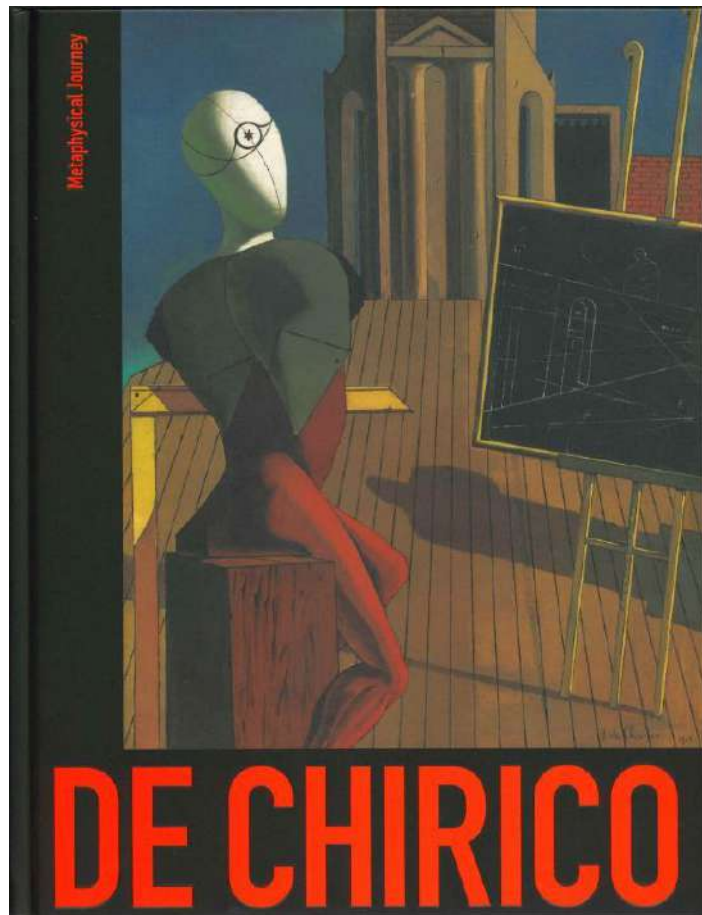


先行ちらし





図録 表紙



図録 表紙

### Giorgio de Chirico: Metaphysical Journey



9.14 (土) 12.8 (日) 神戸市立博物館 KOBE CITY MUSEUM

# デ・キリコ展

### Giorgio de Chirico: Metaphysical Journey



9.14 (土) 12.8 (日) 神戸市立博物館 KOBE CITY MUSEUM

14 (イタリア広場 (旅人の記念碑)) 1909年 油彩・カンヴァス ジョルジョ・デ・イーザ・デ・キリコ制作 (ローマ) © Fondazione Giorgio e Isa de Chirico, Roma © Giorgio de Chirico, by SIAE 2024

23 (壁紙とビスケットのある市街上の室内) 1973年 油彩・カンヴァス ジョルジョ・デ・イーザ・デ・キリコ制作 (ローマ) © Fondazione Giorgio e Isa de Chirico, Roma © Giorgio de Chirico, by SIAE 2024

47 (室内の家具) 1927年 油彩・カンヴァス トレント・エ・ロヴェレート近現代美術館 (L.F.コレクションより長期貸与) © Archivio Fotografico e Mediateca Mart © Giorgio de Chirico, by SIAE 2024

54 (廊下スライク) 1924年 油彩・カンヴァス クニクレディ・アート・コレクション © UniCredit Art Collection, photo credits Sebastiano Palmieri di Persano © Giorgio de Chirico, by SIAE 2024

66 (巨大な木像のある市街上の室内) 1971年 油彩・カンヴァス ジョルジョ・デ・イーザ・デ・キリコ制作 (ローマ) © Fondazione Giorgio e Isa de Chirico, Roma © Giorgio de Chirico, by SIAE 2024

108 (ビスネップスリーブと豪華な古い洋中巻にスモック) 1931年 水彩画されたワールド、コロン ジョルジョ・デ・イーザ・デ・キリコ制作 (ローマ) © Fondazione Giorgio e Isa de Chirico, Roma © Giorgio de Chirico, by SIAE 2024

### デ・キリコってどんな人??



ジョルジョ・デ・キリコ  
Giorgio de Chirico (1888-1978)  
ギリシャ生まれのイタリアの画家。  
謎を愛した画家だったんだよ。

17世紀の衣装をまとった山荘での自画像の前でポーズを取るジョルジョ・デ・キリコ (部分)  
1968年 自撮りのサロンにて  
Photo: Walter Men  
[提供: ジョルジョ・デ・イーザ・デ・キリコ財団 (ローマ)]

### はじめまして!

わたしは**マヌカン** (マネキン)。  
デ・キリコの作品にたくさん登場しているよ!

32 (不安な気象を告げるニュースタタ) 1950年 油彩・カンヴァス マネッラ・オットーネ制作 (ラッソ・リッチ美術館) © Giorgio de Chirico, by SIAE 2024

### 謎 7point

絵の中に  
見たことあるモチーフが…?



## キリコ・デ・ビンゴ

隠された作品の中から、次のモチーフを見つけて、下の〇をつけよう! **タテ・ヨコ・ナナメ**のどれか1つがそらえば**ビンゴ!** (\*モチーフ右下の数字は、作品番号です。)

たいよう



69

さかな



108

家具



47

謎のモチーフ



14

FREE

ビスケット



23

マヌカン



28

さんかくじょうぎ  
三角定規



22

スイカ



54

1アーチ型もデ・キリコ作品の代表的なモチーフなんだ!

### 謎 7point

部屋の中に水? カーペット?



64 (オデッセウスの神像) 1968年 油彩・カンヴァス ジョルジョ・デ・イーザ・デ・キリコ制作 (ローマ) © Fondazione Giorgio e Isa de Chirico, Roma © Giorgio de Chirico, by SIAE 2024

### 謎 7point

部屋の外に家具? 部屋の中に家?



43 (室内の家具) 1927年 油彩・カンヴァス トレント・エ・ロヴェレート近現代美術館 (L.F.コレクションより長期貸与) © Archivio Fotografico e Mediateca Mart © Giorgio de Chirico, by SIAE 2024

45 (壁の扉戸のある家) 1925-26年 油彩・カンヴァス 個人蔵 © Giorgio de Chirico, by SIAE 2024

### 謎 7point

ギザギザの影? それとも…



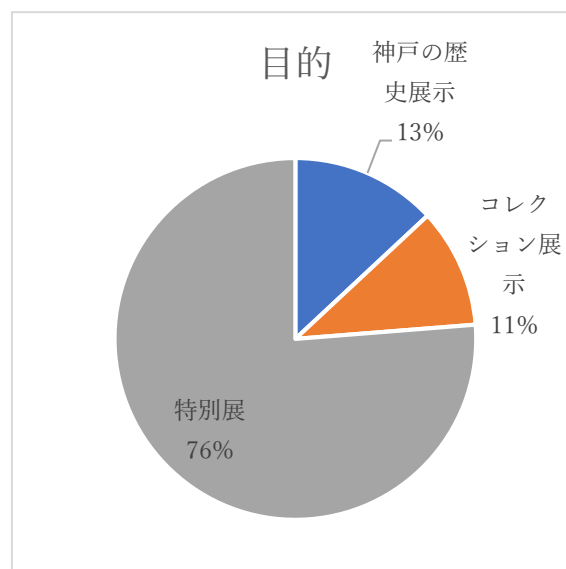
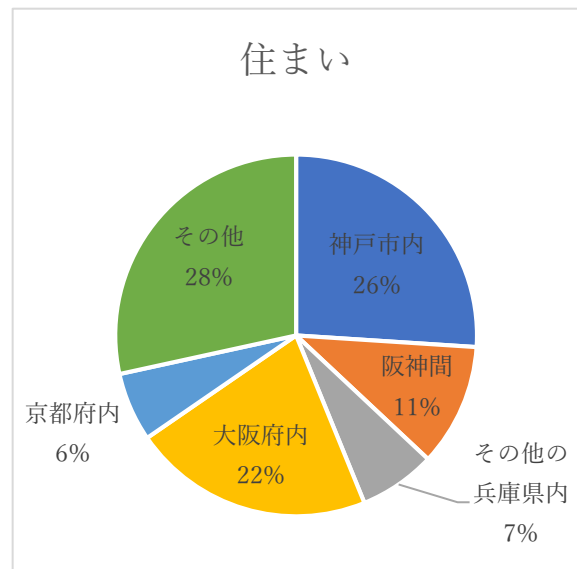
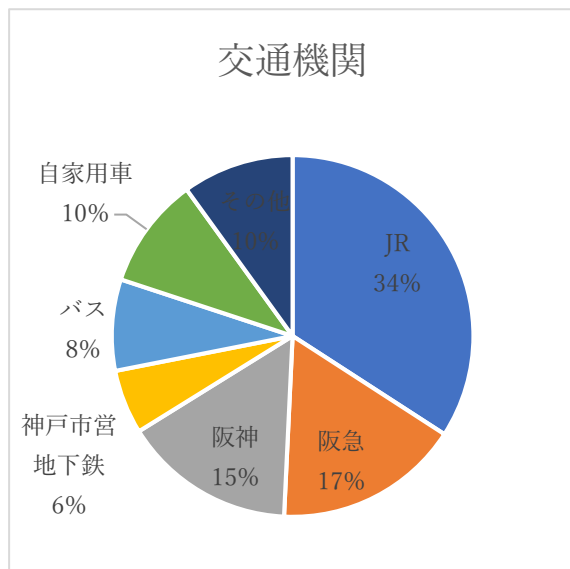
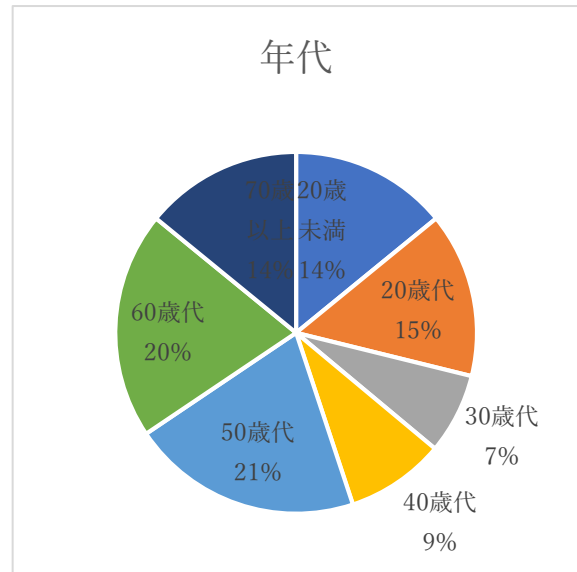
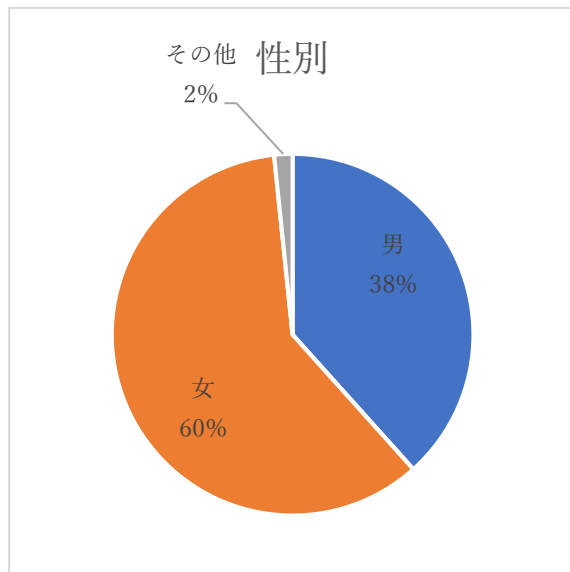
67 (オレステスの殉難) 1969年 油彩・カンヴァス ジョルジョ・デ・イーザ・デ・キリコ制作 (ローマ) © Fondazione Giorgio e Isa de Chirico, Roma © Giorgio de Chirico, by SIAE 2024

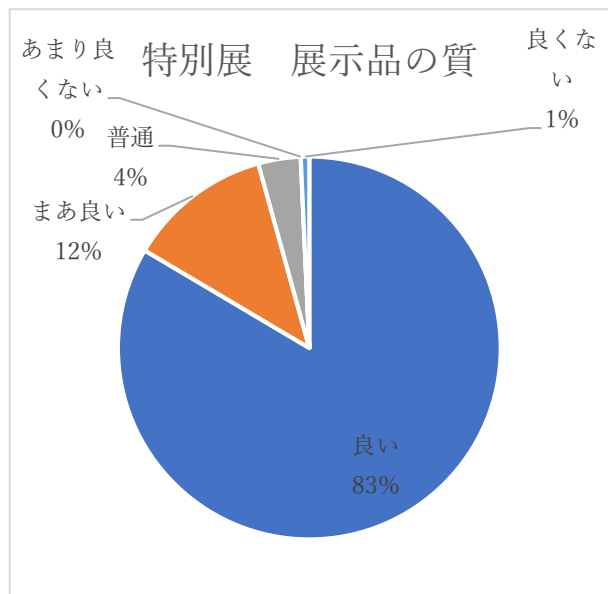
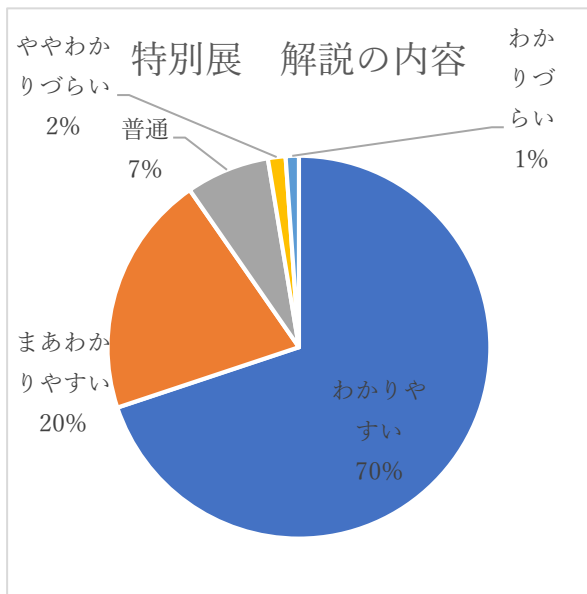
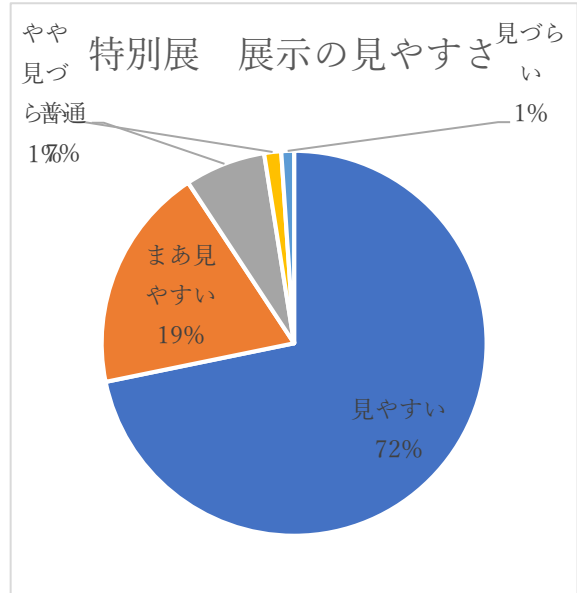
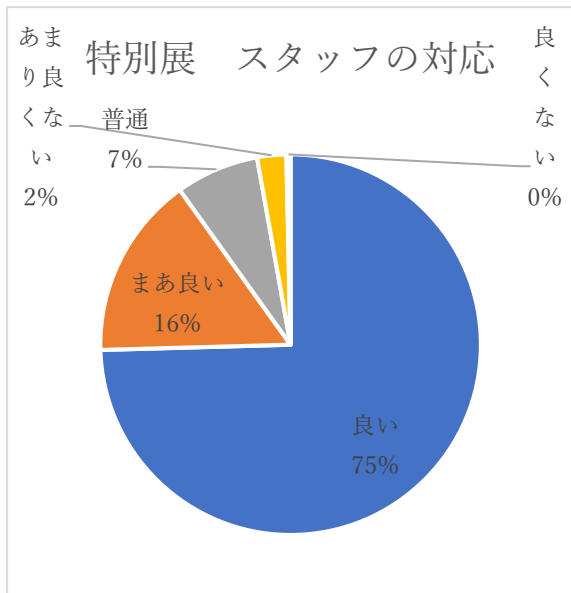
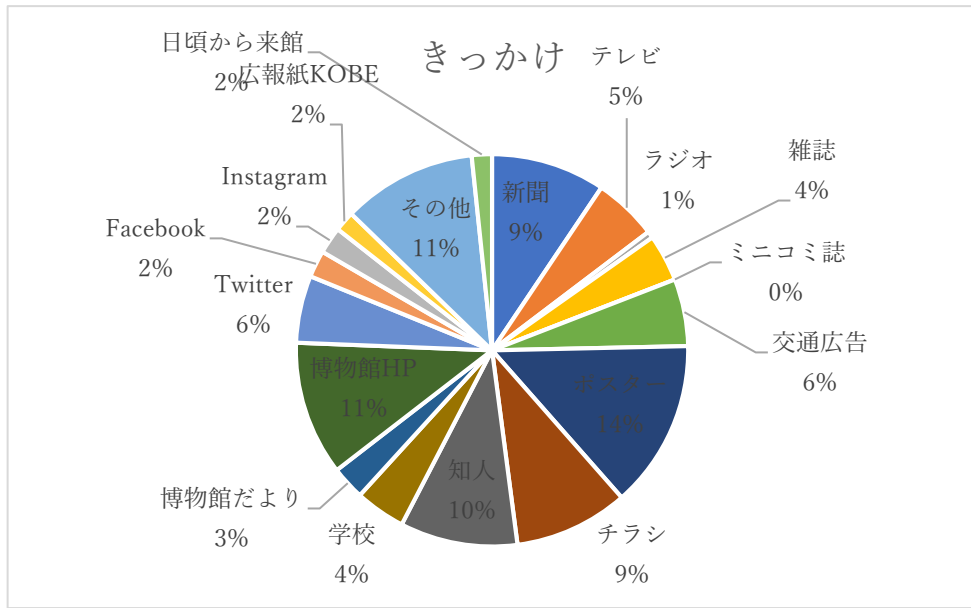
68 (城への帰還) 1909年 油彩・カンヴァス ジョルジョ・デ・イーザ・デ・キリコ制作 (ローマ) © Fondazione Giorgio e Isa de Chirico, Roma © Giorgio de Chirico, by SIAE 2024

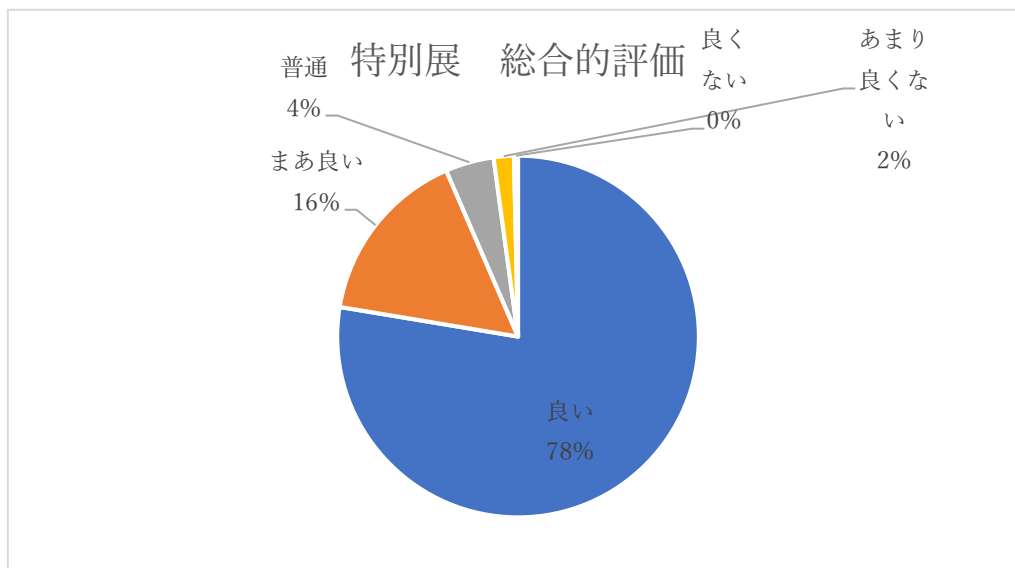
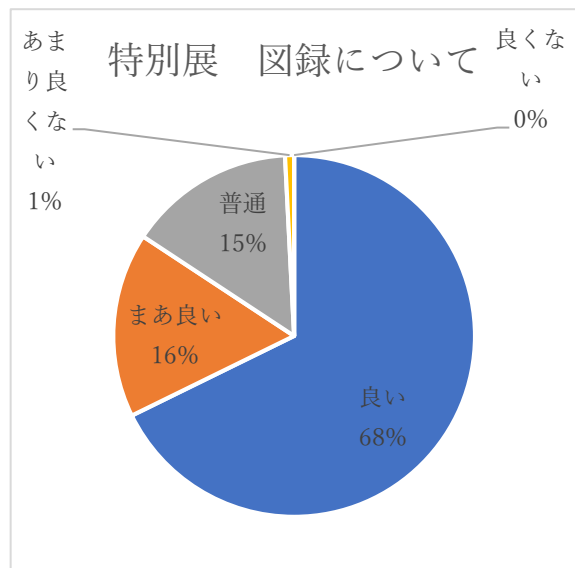
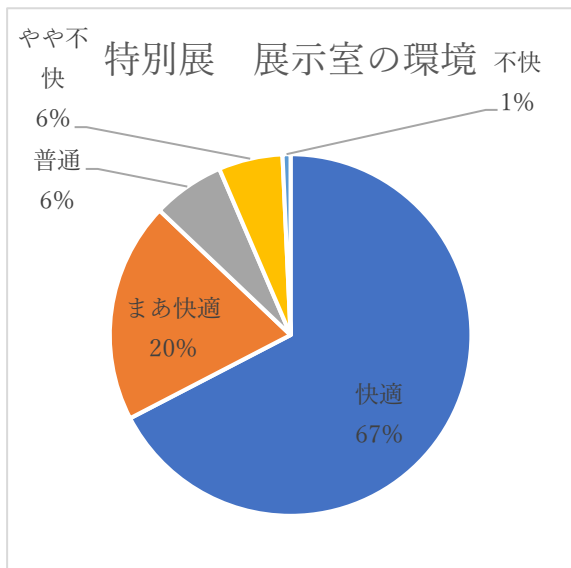
こどものための鑑賞ガイド

## アンケートの結果（回答者：313人）

アンケート方法：展覧会期間中、観覧を終えた希望者による記入







#### (4) 第 151 回特別展

### 古地図からひろがる世界

#### —南波松太郎・蒐集 70 年の軌跡—

##### ・内 容／

神戸市立博物館は、日本屈指の質と量を誇る古地図コレクションを所蔵している。その礎の一つが、南波松太郎コレクションである。

南波松太郎（1894-1995）は大阪の生まれ。生来、なんでも集めることが好きであった南波は、旧制中学校の同級生であった秋岡武次郎（1892-1975）に誘われて、大正時代末頃から古地図の蒐集をはじめた。その生涯をかけて形成したコレクションの総数は、10,000 点を超えるとみられる。本展では、はじめて紹介される江戸幕府撰享保日本総図の写本（享保 13 年 [1728] 以降）など、数々の優品を紹介した。

・ 出品点数：61 件

#### (5) 第 152 回特別展

### 特別展「日本銅版画 30 の極み」

##### ・内 容／

日本の版画は、浮世絵版画に代表される木版画が広く知られているが、これとはまったく異なる表現美をもつ銅版画にも長い歴史がある。天明 3 年（1783）に司馬江漢が開発した腐蝕銅版画（エッチング）は、その細密な技法で一世を風靡し、幕末から明治にかけて近代的な版画表現を先導する存在になった。

神戸市立博物館には、日本製銅版画について屈指の質量をほこるコレクションがある。本展ではその優品と、めったに紹介されることのない逸品 30 点を厳選し、肉眼では確認できないような細部まで、その魅力を深掘りして紹介した。

・ 出品点数：31 件

・ 会 期：令和 7 年（2025）2 月 1 日（土）～3 月 23 日（日）【44 日間】

・ 会 場：特別展示室 1、南蛮美術館室（古地図からひろがる世界）  
特別展示室 2（日本銅版画 30 の極み）

・ 主 催：神戸市立博物館、日本経済新聞社

・ 協 賛：公益財団法人 日本教育公務員弘済会 兵庫支部

・ 後 援：一般財団法人 地図情報センター

・ 入 場 料：当日・一般 1,400 円

・ 入場者数：9,945 人

・ 関連事業：p.65 に掲載

# 古地図から ひろがる世界

特別展

南波松太郎・蒐集70年の軌跡

The World Expanded from Old Maps  
by Namba Matsutaro Collection

2025. 2.1 | 土 / 3.23 | 日

神戸市立博物館  
Kobe City Museum

〒650-0234 神戸市中央区京町24番6号 Tel. 078-351-0255 Fax. 078-352-7054  
https://www.kobeclm.museum.jp/

休館日 月曜日  
(ただし、2月24日(月・祭日)は開館、2月25日(火)  
開館時間 9時30分～17時30分  
(金・土曜日は20時まで)  
※長閑への入場は開館の10分前まで

会場 神戸市立博物館  
3階特別展示室1  
2階南庭美術館室

観覧料 一般1,400円(1,200円)  
小学生700円(600円)  
高校生以下無料

※本展は神戸市立博物館(以下「本館」)の所蔵  
品を主体として、2024年10月1日(水)～2025年7月31日(金)まで販売  
チケットの印刷・販売等は神戸市立博物館ホームページを  
ご確認ください。

※本展は神戸市立博物館(以下「本館」)の所蔵品を主体として、  
2024年10月1日(水)～2025年7月31日(金)まで販売  
チケットの印刷・販売等は神戸市立博物館ホームページを  
ご確認ください。

主催 神戸市立博物館、日本経済新聞社  
協賛 公益財団法人 日本教育会 関西支部 兵庫支部  
後援 一般財団法人 地誌情報センター

同時開催  
特別展  
日本銅版画  
30の極み 神戸市立博物館  
2階特別展示室2

Thirty Summits amongst Japanese Etching and Engraving Prints

B2 ポスター

# 古地図から ひろがる世界

特別展

休館日 月曜日  
(ただし、2月24日[月・祭日]は開館、  
2月25日[火])

開館時間 9時30分～17時30分  
(金・土曜日は20時まで)  
※展示室への入場は予約の30分前まで

会場 神戸市立博物館  
3階特別展示室1  
2階南宮美術館室

観覧料 一般1,400円(1,200円)  
大学生700円(600円)  
高校生以下無料

※( )内は団体(20名以上)、特別観覧料  
※高校生以下の方は学生証・生徒手帳などをご提示ください  
※神戸市在住で満65歳以上の方は、当日一般料金が  
半額(証明書)  
※障害のある方は、障害者手帳などの提示で入場無料  
※観覧料は2024年10月31日(木)～2025年1月31日(金)  
まで有効

観覧券別 チケットのみ【687-08】ロージンチケット  
【6745】セブンチケット【107-89】CNプレイガイド、  
オーブラス、楽天チケット  
※チケット購入時に手数料がかかる場合があります  
※本展観覧券にて下記の同時開催特別展も観覧いただけます  
主催 神戸市立博物館、日本経済新聞社  
協賛 公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部  
後援 一般財団法人地誌情報センター

特展-併行開催「天文分野之図」(部分)寛政5年(1677) 南波松太郎  
コレクション  
左上から時計回りに  
「大朝地理之図」(部分)寛政9年(1685) 南波松太郎コレクション  
「東洋全図」(部分)江戸時代、17世紀 南波松太郎コレクション  
「和蘭志」江戸時代、南波松太郎コレクション  
「安田重州」甲斐かじが里宮土河あとしの書(部分)江戸時代、19  
世紀前期～中期 海長及コレクション  
「エドアルド・モリソン」生、大蔵省印刷局「大久保利達像」(部分)  
明治12年(1879) 海長及コレクション  
「蘭人輸入図」(部分)江戸時代、南波松太郎コレクション  
すべて神戸市立博物館蔵

2025.  
2.1 | 土 |  
→ 3.23 | 日 |

特別展  
日本銅版画  
30の極み

神戸市立博物館  
2階特別展示室2

神戸市立博物館  
Kobe City Museum  
〒650-2034 神戸市中央区南町24番地 Tel. 078-351-0255 Fax 078-352-7058  
https://www.kobecitymuseum.jp/ X @kobecitymuseum Instagram kobecitymuseum

Thirty Summits amongst Japanese Etching and Engraving Prints

ちらし 表

# 南波松太郎の多彩なコレクション

## ① 新発見 享保日本総図

江戸時代、幕府は大名に命じて各国の国絵図を作成し、それらを編集して日本地図を作りました。これを日本総図といいます。右の地図は、8代将軍徳川吉宗の命令で作られた享保日本総図とみられます。享保日本総図については模写図などの資料が少なく、その全貌は明らかではありません。もしかしたらこの地図が謎を解き明かすきっかけとなるかもしれません。



左から「国図」・「国図巻」・「国図二」享保13年(1728)以降

## ② 大きさ3m! 大明地理之図

明時代の中国を中心に、朝鮮、日本、琉球など東アジアを描いた地図の大きさはなんと3m! 当時の地理情報が満載です。巨大な地図の迫力をお楽しみください。



「大明地理之図」延享9年(1681)

## ③ 初展示&初公開がいっぱい!

本展出品作品はすべて、神戸市立博物館では初めて展示されるものです。著書などで紹介されたことがあるものもあれば、存在が知られていなかったものも…。



「万国人物図巻」(部分)江戸時代、18世紀



「東亜航海図」江戸時代、17世紀

すべて、神戸市立博物館蔵  
書書は「東亜航海図」

**関連事業**  
記念講演会  
「南波松太郎—古地図収集のこども—」  
日 時:12月23日(日・祝)14時~15時30分  
講 師:小野田 一幸(当館学芸員)  
会 場:神戸市立博物館 地階講堂  
定 員:140名(当日先着順)  
参加費:無料(当日使用できる本展観覧券が必要)  
※当日、13時30分から講堂前で整理券を配布

学芸員による展示解説会  
日 時:毎週土曜日、14時~14時30分  
会 場:神戸市立博物館 地階講堂  
定 員:140名(当日先着順)  
参加費:無料(当日使用できる本展観覧券が必要)  
※開場は13時30分から

こども鑑賞会  
日 時:3月15日(土)10時30分~12時  
会 場:神戸市立博物館 地階講堂  
定 員:140名(当日先着順)  
対 象:小学4年生~中学3年生とその保護者  
参加費:無料(当日使用できる本展観覧券が必要)  
高校生以下無料



●JR「三ノ宮」駅、阪急・阪神「神戸三宮」駅、神戸市営地下鉄(西神・山手線)、ポートライナー「三宮」駅から南西へ徒歩約10分●JR「元町」駅から南東へ徒歩約10分●神戸市営地下鉄(御影線)「巨摩駅前・大丸前」駅から南東へ徒歩約8分●新幹線「新神戸」駅から神戸市営地下鉄(西神・山手線)に乗り換え、「三宮」駅下車●神戸空港からポートライナーで「三宮」駅下車  
※博物館には駐車場がありません。お近くの有料駐車場をご利用ください。

## 同時開催 特別展「日本銅版画 30の極み」

日本の版画は、浮世絵版画に代表される木版画が広く知られていますが、これとはまったく異なる表現美をもつ銅版画にも長い歴史があります。天明3年(1783)に司馬江漢が開発した富軸銅版画(エッチング)は、その細密な技法で一世を風靡し、幕末から明治にかけて近代的な版画表現を先導する存在になりました。  
神戸市立博物館には、屈指の質量をほこる日本銅版画コレクションがあります。本展ではその僅品と、めったに紹介されることのない逸品30点を厳選し、肉眼では確認できないような細部まで、その魅力を深掘りして紹介します。

記念講演会  
「日本銅版画 細部に宿る神」  
日 時:3月9日(日)14時~15時30分  
講 師:塚原 晃(当館学芸員)  
会 場:神戸市立博物館 地階講堂  
定 員:140名(当日先着順)  
参加費:無料(当日使用できる本展観覧券が必要)  
※当日、13時30分から講堂前で整理券を配布

**神戸市立博物館** X @kobemuseum  
Kobe City Museum @kobemuseum

〒650-0034 神戸市中央区京町24番地 TEL 078-391-0095 FAX 078-392-7054 <https://www.kobecitymuseum.jp/>







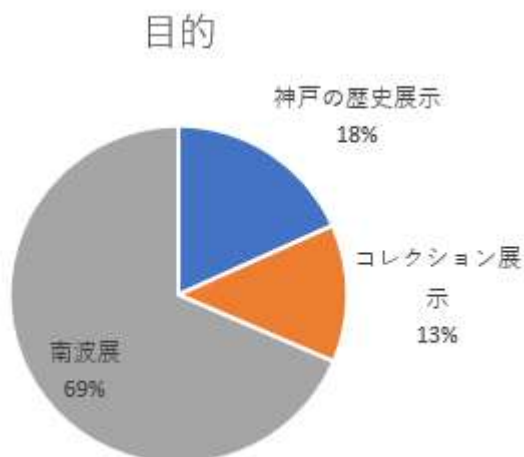
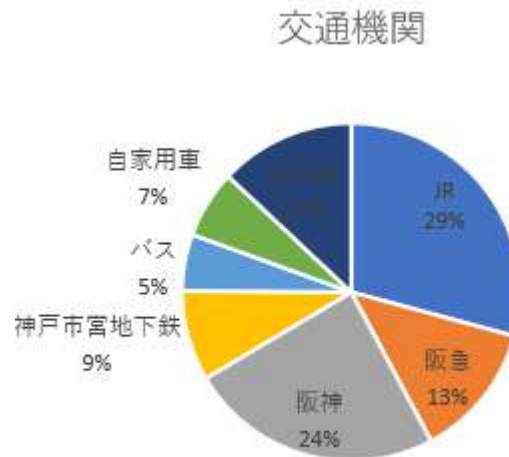
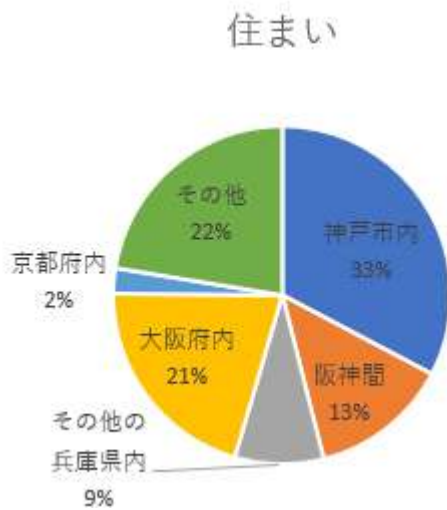
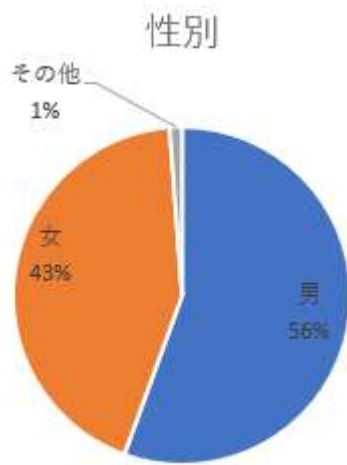
古地図展図録表紙

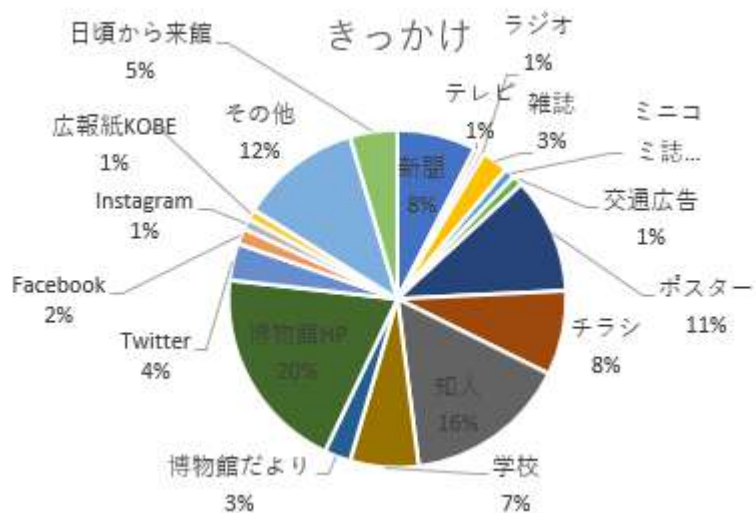


銅版画展図録表紙

## アンケートの結果（回答者：176人）

アンケート方法：展覧会会期中、観覧を終えた希望者による記入

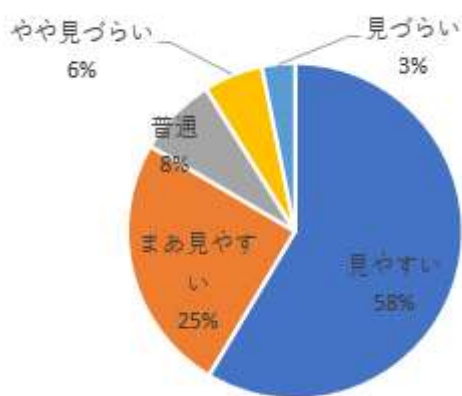




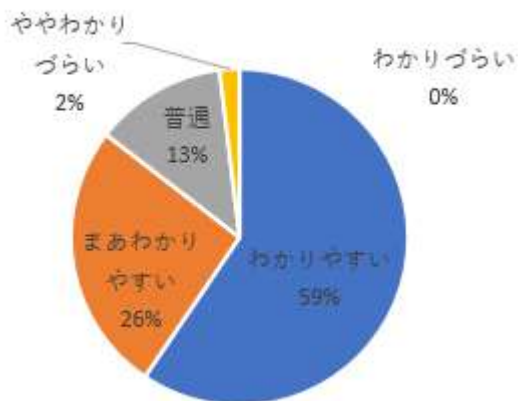
### 特別展 スタッフの対応



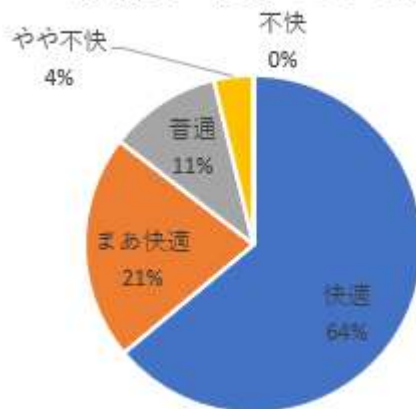
### 特別展 展示の見やすさ



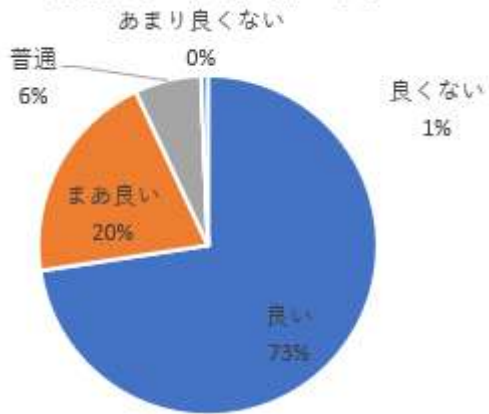
### 特別展 解説の内容



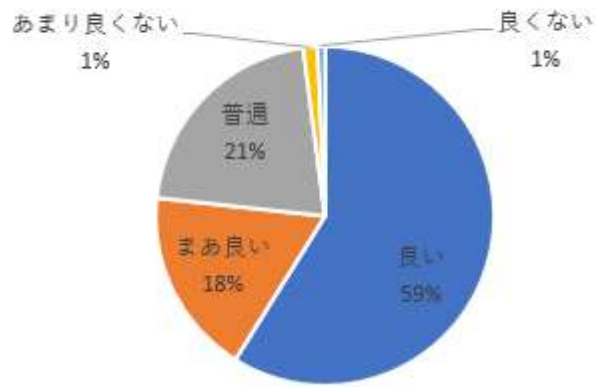
### 特別展 展示室の環境



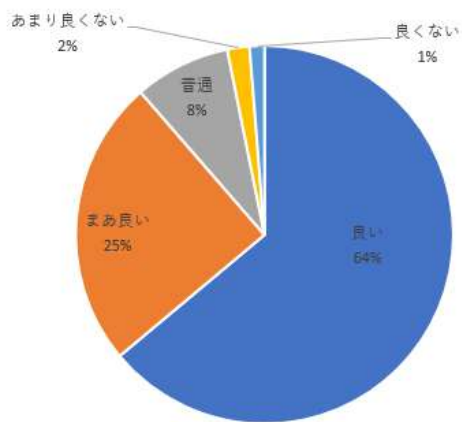
### 特別展 展示品の質



### 特別展 図録について



### 特別展 総合的評価



### 3. 企画展

#### (1) 特集展示

## 神戸の仏教絵画—旧居留地×異世界巡り

#### ・内 容／

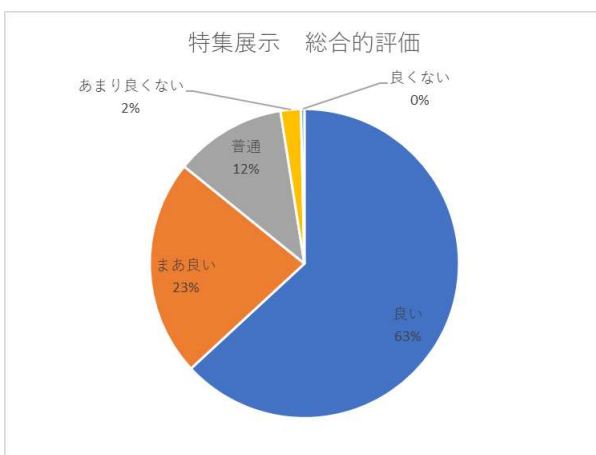
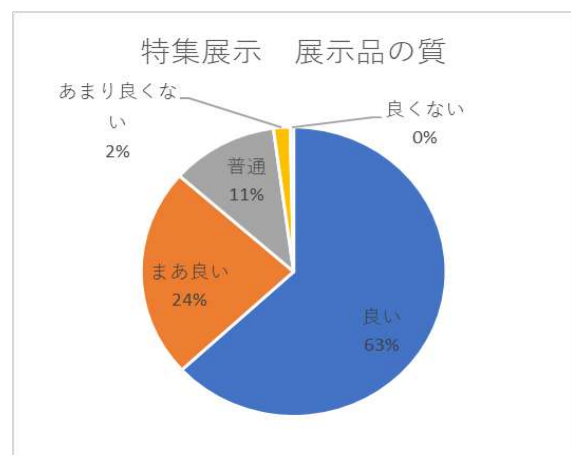
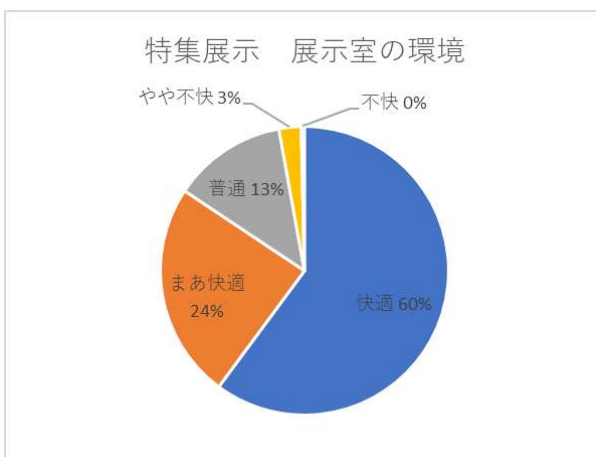
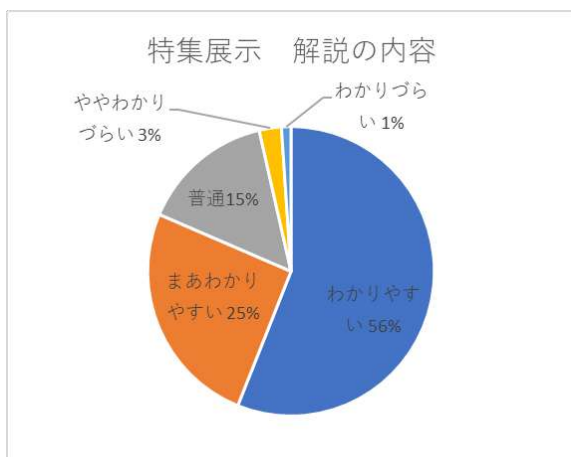
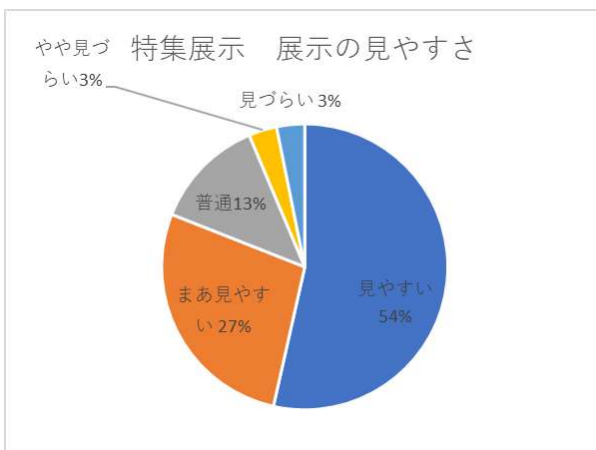
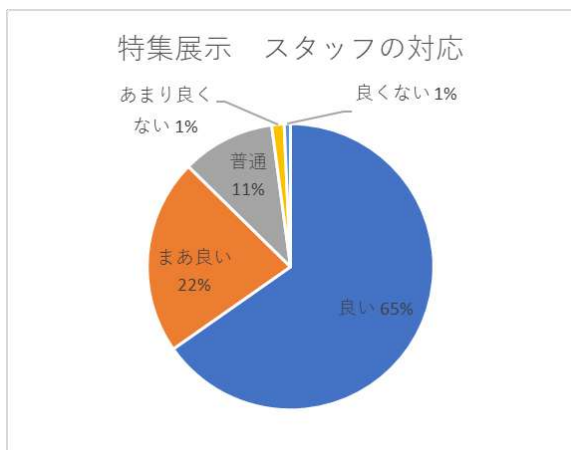
博物館が受託する神戸市内の仏教絵画を「異世界巡り」をコンセプトに、柳原義達、昇外義の作品とあわせて展示。柳原義達作品をナビゲーターとした解説パネル・キャプションを作成することで、難解と想われがちな仏教絵画を楽しみながら観覧できるような展示構成とした。

- ・会 期：令和6年（2024）3月30日（土）～5月19日（日）【45日間】
- ・会 場：特別展示室1
- ・主 催：神戸市立博物館
- ・入 場 料：当日・一般300円（コレクション展示室入場券と共通）
- ・入場者数：11,430人
- ・出品点数：22件 ※出品目録は[当館HP](#)に掲載



アンケートの結果（回答者：641人）

アンケート方法：展覧会期間中、観覧を終えた希望者による記入



4. 特別利用等			
(1) 画像利用			
承諾件数	172件 507点		
利用区分		件数	点数
(ア) 国、地方公共団体が公共の目的でその事業の用途として利用するため申請するとき。		31	89
(イ) 学校教育法第1条に規定する学校(大学は除く。)の教科書、学校(大学は除く。)が作成する教材の用途として利用するとき。		16	40
(ウ) 博物館が調査研究、展示、広報等の用途として利用するため申請するとき。		41	138
(エ) 営利を目的としない個人、団体が、営利を目的としない学術書(発行部数1,000部以下)、又は学術雑誌、調査報告書等もっぱら学術研究の用途として利用するとき。		84	240

(2) 画像提供	
平成26年10月1日より、(1)画像利用に該当しない当館収蔵品の画像掲載・放送等については画像提供業務として外部委託している(委託先:株式会社DNPアートコミュニケーションズ)。	
申込件数	456件 602点
イメージアーカイブ登録	817件

(3) 特別利用 館外貸出				
のべ9箇所 34件 37点				
貸出先(会場)	展覧会名	会期	点数	貸出資料
パナソニック汐留美術館	「テルマエ展 お風呂でつながる古代ローマと日本」	R06.04.0 6-06.09	6件 6点	『都名所図会 巻三』、肌競花の勝婦湯、諸国温泉功能鑑、旅行用心集、上野国伊香保鉦泉浴客病痾全快祝宴、諸国温泉遊覧記 相豆之部 全
刈谷市歴史博物館	企画展「めでたきとり」	R06.04.1 7-06.19	2件 2点	松に白鷹図、型吹き焼付桜に雀文図ガラスコップ
福井県立若狭歴史博物館	特別展「小浜藩医 杉田玄白の挑戦—『解体新書』出版250年—」	R06.07.2 0-08.18	7件 7点	出島阿蘭陀屋舗景、長崎港、外科手術図、フランダ人外科療治之図、人体解剖図 オランダ語版、ヒポクラテス像、『大画法書 蘭語版』
市立伊丹ミュージアム	特別展「虫展」	R06.08.0 9-09.29	6件 6点	桜ヶ丘5号銅鐸(複製)、天球全図 以顕微鏡観虫類図、むしづくし、小倉擬百人一首 柿本人麿 加賀千代、紅毛雑話、紅毛雑話
岐阜県美術館	特別展「PARALLEL MODE:山本芳翠」	R06.09.2 7-12.08	2件 2点	猛虎逍遥図、鹿児島戦争之図
MIHO MUSEUM	特別展「うまいうのはし 日本の食事(たべごと)」	R06.09.2 8-12.15	1件 2点	花下群舞図屏風

齋宮歴史博物館	特別展「中世の齋宮とその時代背景—転換期を生きた齋王たち—」	R06.10.0 5-11.24	1件2点	源平合戦図屏風（一の谷・屋島合戦図）
板橋区立美術館	「エド・イン・ブラック 黒からみる江戸絵画」	R07.03.0 8-04.13	8件8点	江戸八景（品川帰帆・両国橋夕照）、二見浦曙の図、三韓 日本大巴、[江戸名勝図] 品川月夜図、雪梅図、雪梅図、江戸八景（衣紋坂夜雨・浅草寺晴嵐）、江戸八景（金竜山暮雪・愛宕秋の月）
文化庁文化財第一課	指定調査のため	R07.01.1 6-03.19	1件2点	花下群舞図屏風

(4) 特別利用 館外貸出以外			
許可件数	48件 526点		
利用区分		件数	点数
	(1) 熟覧	46	522
	(2) 模写	0	0
	(3) 模造	0	0
	(4) 撮影	45	482
(5) その他	3	14	

※利用区分の件数点数は重複がある。

5. 広報	
(1) HP	
	件数
更新件数（委託業者の報告による）	59件
訪問者数	946,387 アクセス
館蔵品データベース公開件数	1942件

(2) SNS			
	フォロワー数	投稿数	インプレッション数
X (旧 Twitter)	13,941	204	898,155
Facebook	3,651	146	15,346
Instagram	1,835	66	

(3) 印刷物製作（博物館だより・展覧会予定）	
【125号】	（特別展紹介、展示スケジュール、新収蔵資料、国宝桜ヶ丘銅鐸・銅戈群発見60年）5,000部、8月30日発行。（変形B5版8ページ）来館者に向けて館内で配布した（全て配布済）。
【126号】	（特別展紹介、神戸歴史見聞録、展示スケジュール）5000部、3月28日発行。（変形B5版8ページ）来館者に向けて館内で配布中。
【配布場所】	情報コーナー、ちらし置き場、インフォメーションカウンター
広報のため、関連施設、ミュージアムカード会員等へ発送を行った。関連施設には、配架を依	

頼した（発送先：小磯記念美術館、神戸ゆかりの美術館、市立図書館、各区文化センター、観光案内所等）。

PDF を神戸市立博物館ホームページに掲載した。

※郵送料値上げのため、126号以降ミュージアムカード会員への送付を停止した。125号送付時に、会員向けに周知済。

#### （４）その他広報活動（取材・掲載対応）

##### ①各種広報媒体への記事掲載状況・回数

取材申込対応：	19件
広報等申込対応	14件
広報宣伝費を伴う出稿	2件 『るるぶFREE神戸'24年9月』 『大阪観光コンシェルジュ Vol.12』
その他広報媒体への情報提供	70件
	計 105件

##### ②神戸市関係の広報媒体への情報提供

記者資料提供	19件
広報紙 KOBE	3件
おでかけ KOBE	33件
	計 55件

##### ③館外への博物館情報の発信

広報物掲示板でのポスター掲示替え	4回
サンポチカでの掲示替え	4回
情報発信コーナーへのチラシ配架	9回 内訳 ダイエー 6回 ローソン 3回
三宮オーエスビジョン	2回
メリケンパーク大型ビジョン	1回
京町筋へのバナー掲出	1回
	計 21回

##### ④館外各施設との広報連携

神戸アリーナプロジェクト （動画「GLION ARENA KOBE までの周辺おすすめスポット紹介！～新神戸駅ルート～」への協力）	1回
	計 1回

## 6. 広聴

展覧会アンケート調査結果は各展覧会の項目を参照

7. ミュージアムグッズ				
(1) ミュージアムグッズ開発・販売				
①新規発売・再販一覧				
区分	種類	数量	納品日	販売数
新規	三角スケール（青・ブロンズ）	2種類×100個	1月24日 (2月1日より販売)	140個
新規	絵葉書 （「東亜航海図」「中方儀」「下つけ からす川の景（江戸近国風景）」 「今戸瓦焼之図（小型江戸名勝 図）」「神戸百景(34)川崎造船所」）	5種類×200枚	1月30日 (2月1日より販売)	257枚

②ミュージアムグッズの広報	
SNS（Facebook、X〔旧Twitter〕、Instagram）	1月18日
サンポチカでの商品紹介展示	4月に実施

## 人々とともに歩む

1. 普及事業			
(1) 一般向け事業			
① 展覧会に関する一般向け事業			
●特別展 Colorful JAPAN—幕末・明治手彩色写真への旅			
1. 記念講演会			
月 日	タイトル	講 師	参加者
4月6日	異郷のスペクタクル—世界写真史 における日本の手彩色写真	佐藤 守弘 (同志社大学文学部教授)	62人
4月27日	Colorful JAPAN	水嶋 彩乃	56人
2. 学芸員による展示解説会			
月 日	内 容	講 師	参加者
毎週土曜	展覧会のみどころ解説 (全7回)	当館学芸員	180人
3. 神戸新聞旅行社連携バスツアー			
月 日	タイトル	講 師	参加者
4月11日	神戸市立博物館の学芸員と近代の 神戸を巡る～神戸ゴルフ倶楽部と シュウエケ邸	水嶋 彩乃	41人
4. 外国人向け居留地ツアー			
月 日	内 容	講 師	参加者
5月11日	外国人を対象とした居留地ツアー	水嶋 彩乃	1人

●特別展 テルマエ展—お風呂でつながる古代ローマと日本			
1. トークショー			
月 日	タイトル	講 師	参加者
6月22日	ヤマザキマリ氏トークショー	ヤマザキマリ (漫画家、文筆家、画家)	117人
2. 学芸員による展示解説会			
月 日	内 容	講 師	参加者
毎週土曜	展覧会のみどころ解説 (全10回)	当館学芸員	451人
3. 神戸新聞旅行社連携バスツアー			
月 日	タイトル	講 師	参加者
6月27日	学芸員と巡る神戸—秀吉が愛した 有馬	川野 憲一、萱原 朋奈	19人
4. 外国人向けツアー			
月 日	内 容	講 師	参加者
7月13日	外国人を対象とした有馬ツアー	川野 憲一、萱原 朋奈	7人
5. イタリア文化会館-大阪特別協力コンサート			

月 日	タイトル	演奏者	参加者
6月23日	珠玉のバロック ヴァイオリン& チェンバロコンサート	ヴァイオリン： マウロ・イウラート チェンバリスト： パブロ・エスカンデ	94人
6. 浮世絵摺体験			
月 日	内 容	講 師	参加者
8月9日	体験学習室での浮世絵摺体験	当館学芸員	99人
7. 特別な鑑賞体験の提供			
月 日	内 容		参加者
7月9日	未就学児と保護者のための鑑賞会		39人
7月9日	障害者のための鑑賞会		84人

●特別展 デ・キリコ展			
1. 記念講演会			
月 日	タイトル	講 師	参加者
10月12日	ジョルジョ・デ・キリコとイタリ ア 20世紀美術	金井 直 (信州大学人文学部教授)	137人
2. 学芸員による展示解説会			
月 日	内 容	講 師	参加者
毎週土曜	展覧会のみどころ解説 (13回)	当館学芸員	1,093人
3. イタリア文化会館-大阪特別協力コンサート			
月 日	タイトル	演奏者	参加者
9月15日	マルコ・カッペッリ ギターリサイ タル～ジョルジョ・デ・キリコに捧 ぐ～	ギター：マルコ・カッペッリ	100人

●特別展 古地図からひろがる世界—南波松太郎・蒐集70年の軌跡— 日本銅版画 30の極み			
1. 記念講演会			
月 日	タイトル	講 師	参加者
2月23日	南波松太郎—古地図収集のことど も—	小野田 一幸	120人
3月9日	日本銅版画 細部に宿る神	塚原 晃	52人
2. 学芸員による展示解説会			
月 日	内 容	講 師	参加者
毎週土曜	展覧会のみどころ解説 (8回)	当館学芸員	208人
3. 特別な鑑賞体験の提供			
月 日	タイトル	講 師	参加者
3月15日	こども鑑賞会		2組

① その他の一般向け事業			
●ミュージアム講座（第29回）			
月 日	タイトル	講 師	参加者
10月3日	聖フランシスコ・ザビエル像とその時代	塚原 晃	98人
11月7日	池長美術館再考ーその活動と意義	中山 創太	84人
12月5日	江戸図をよみとく	鈴木 更紗	91人
1月9日	神戸市立博物館所蔵の手彩色写真	水嶋 彩乃	74人
3月6日	江戸時代後期における遊廓の人口構造ー長崎寄合町を事例としてー	小野田 一幸	65人

●学芸員と神戸を巡る（第8回）				
月 日	タイトル・内容		講 師	参加者
10月26日	神戸の煉瓦～学芸員	事前説明	田島 靖大	14人
11月2日	と煉瓦を調査する～	現地見学		中止

●博物館をたのしむ（第11回）			
月 日	タイトル	講 師	参加者
5月17日	土器のうつりかわり～年代のものさし～	萱原 朋奈	5人
6月7日	うつりかわる日本のかたち	永山 未沙希	5人
7月12日	武将の手紙のうつりかわり～豊臣秀吉を中心に～	三好 俊	5人

●浮世絵の摺り師に挑戦！（おとなの部）			
月 日	内 容	講 師	参加者
6月8日 午前・午後	本格的な復刻版木を使い浮世絵の摺りを体験する講座	佐藤 樹里 上田 文江	計16人

●ギャラリートーク 常設展示解説 各日17:00～17:30			
月 日	内容・場所	講 師	参加者
4月26日	神戸の仏教絵画・特別展示室1	川野 憲一	9人
4月30日	神戸の歴史【古代から中世】・歴史展示室	田島 靖大 川野 憲一	13人
5月1日	須恵器・地域文化財展示室	萱原 朋奈	6人
5月2日	神戸の歴史【近代】・歴史展示室	水嶋 彩乃	17人
5月3日	古地図&美術・コレクション展示室	中山 創太 永山 未沙希	7人
5月10日	びいどろ&歴史・コレクション展示室	山田 麻里亜 水嶋 彩乃	9人
5月17日	神戸の仏教絵画・特別展示室1	川野 憲一	12人
2月8日	美術&歴史・コレクション展示室	山田 麻里亜	14人

		三好 俊	
2月15日	古地図・コレクション展示室	永山 未沙希	6人
2月22日	小川邸・地域文化財展示室	川野 憲一	20人
3月1日	考古・コレクション展示室	田島 靖大	6人
3月8日	びいどろ&美術・コレクション展示室	中山 創太	13人
3月15日	歴史・コレクション展示室	川野 憲一	20人
3月22日	神戸の歴史【古代から近代】・歴史展示室	萱原 朋奈 三好 俊 水嶋 彩乃	20人
●1階ホールを活用した博物館建築と「神戸の歴史展示」解説			
月 日	内 容		参加者
4月28日 ～5月2 日、5月5 日～6日	モニターを用いて、神戸の歴史を分かりやすく解説するスライドショーを上映。 1階のみ開館時間を延長したゴールデンウィーク期間に実施。		

## (2) 子供向け事業

### ①ジュニアミュージアム講座

月 日	内 容	参加者
4月27日	写真に色をつけよう	5人
7月20日	タイルで、アートタイム	10人

### ②博物館たんけん隊

月 日	内 容	参加者
8月17日	博物館バックヤードツアー	18人

### ③ワークショップ

月 日	内 容	参加者
7月27日	子ども向け浮世絵入門（午前の部：小学4年～中学3年を対象）	8人
7月27日	子ども向け浮世絵入門（午後の部：小学1年～中学3年とその保護者を対象）	6組

## 2. 博学連携

### (1) 連携授業・学校向け館内オリエンテーション

#### ①学校授業への職員派遣（連携授業）

年間	(1) 実施校数 計123校 ・小学校112校・中学校8校・高等学校0校・特別支援学校3校 (2) 連携授業実施内容回数 計123回
----	--

	・古代体験14回・桜ヶ丘銅鐸4回・源平合戦21回・はるかなる西洋17回 ・伊能図18回・文明開化8回・浮世絵11回・水墨画1回・港の発展29回
学芸員の同行	8人が28回の授業に同行

②学校団体受入数	
年間	(1) 来館校数 計163校、10,781人 ・幼稚園2園・小学校22校・中学校81校・高等学校25校・特別支援学校5校・ 大学21校・その他7校 (2) オリエンテーション実施回数 計16回 (11校) ・小学校7校・中学校1校・高等学校1校、特別支援学校0校、大学2校6回 (3) 職業インタビュー実施回数 1回

③移動博物館車「おきしお夢はこぶ号」の活動	
小・中学校	12校
特別支援学校	1校
大学	1校
学校合計	14校 (延べ14回)

④トライやる・ウィーク (職場体験)	
年間	2校7人

### (2) 大学との連携

①神戸松蔭女子学院大学	
(1) 「神戸研究総論」への出講：4～6月 6回 履修者数 35人 ・受講生のコメントシートには、知らなかったことに興味を持てた、講義を通じて地元 の歴史を知るきっかけを得られた等の感想が記載されていた。	
(2) 松蔭祭での展示協力 ・おきしお夢はこぶ号が参加するとともに、館蔵資料のレプリカを用いて学生が展示を 行った。	
(3) 松蔭祭にて学習支援交流員のワークショップを開催した。	

②神戸女子大学・神戸女子短期大学	
『食物と健康』に掲載する原稿の執筆 ・夏号：田島 靖大「銅鐸絵画から考える、神戸弥生人の食料事情」	

### (3) 博物館実習

①募集スケジュール	
2月20日	当館 HP にて実習生募集を開始

4月23日	申込締切（必着）。定員15人に対して、18校21人より応募があった
4月26日	書類選考の結果、14校15人に受入予定通知を送付。
6月4日	受入大学及び実習生に対して、実習費用納付書、実習プログラム、実習課題の詳細と注意事項を通知。

②実習日程	
8月22日～26日	15人

③実習課題	
博物館の館蔵品を用いて展示テーマを設定し、展示計画を作成する。展示リスト、展示図面などとともに、展示で使用する鑑賞ガイドを作成した。来館者に作成した展示計画・鑑賞ガイドをみてもらい、反応や感想等の観察・聞き取りを行った。これを踏まえ、展示計画・鑑賞ガイドなど鑑賞方法、作成にあたって工夫した点、課題などを分かりやすくプレゼンテーションした。本実習課題は班（5人）で取り組んだ。	

④次年度分の受講生募集	
・2025年2月18日より募集した。	

3. 学習支援交流員	
(1) 学習支援交流員活動	
市民参画を進める開かれた博物館とするため、平成20年度より導入した「学習支援交流員」は「博物館の基本方針にしたがって、参加しようとする者の興味・経験・知識・技能など活かしながら市民と交流し、学習支援などを行う来館者サービスを通して、社会に貢献しようとする者」と規定している。活動は業務請負型ではなく、事業創出型を原則とし、参加者同士の交流や生涯学習の促進をはかることも目的としている。	

①学習支援交流員および学習支援交流員アドバイザー所属者数	
種別	所属人数
学習支援交流員	18人
学習支援交流員アドバイザー	20人

②令和6年度学習支援交流員 活動回数・活動参加者総合計（延べ人数）	
・実施回数58回 参加交流員総数760人	

③学習支援交流員の活動（定例会・研修・活動人数）			
内 容		実施回数	参加交流員
定例会・研修など	定例会（毎月第一金曜日午後2時から実施）	12回	358人

	登録および登録更新にかかる研修会 第1回「応対研修」外部依頼による研修 第2回「人権研修」	2回	66人
博物館事業支援	特別展関連行事支援（開会式・講演会等）	0回	0人
	体験講座・ワークショップ等補助	1回	6人
	ミュージアム講座 資料配布、来場者誘導等の補助	1回	6人
	広報印刷物発送作業	2回	31人

④学習支援交流員による講座・ワークショップ				
内 容		実施回数	参加交流員	一般参加者
企画検討等	自主企画・運営ワークショップ検討会・勉強会等	4回	93人	—
館内でのワークショップ企画運営	・居留地ガイド（10時30分より約75分、2コースを月替わりに実施）	2回	118人	716人
	自主企画・運営ワークショップ ・紙コップで銅鐸づくり ・紙芝居 ・浮世絵摺り ・拓本（湿拓・乾拓） ・万華鏡づくり	16回		
館外イベントでのワークショップ	11月16日 松蔭祭	1回	11人	76人
来館対応	学校団体来館対応・一般来館対応	17回	71人	多数
ワークショップのリニューアル	・掛軸づくりワークショップ			
ワークショップのマニュアル作成	・居留地ガイド ・切子模様の万華鏡を作ろう！			

⑤学芸員の助言や補助、広報、資材調達など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・居留地ガイド・万華鏡のマニュアル作成にかかる助言・監修</li> <li>・館内掲示物作成や博物館 SNS、サンポチカギャラリーを活用した広報</li> <li>・ワークショップにかかる消耗品の購入</li> </ul>

4. 地域連携・共催事業
(1) 共催・協力事業

①神戸市文化振興財団との連携事業による文化センター講座			
月 日	タイトル/場所	講 師	参加者
4月10日	長田神仏逍遥 場に刻まれた古層を巡	川野 憲一	50人

	る／長田ピフレ		
5月18日	伊能忠敬の日本図／長田	永山 未沙希	50人
6月15日	桜ヶ丘銅鐸・銅戈群発見60年／灘	小林 さやか	33人
6月29日	テルマエ展 お風呂でつながる古代ローマと日本／長田	鈴木 更紗	31人
8月21日	錦絵（浮世絵）に関する講座／長田	中山 創太	25人
9月28日	兵庫の記憶を巡る旅－仏×行基×清盛×一遍／兵庫	川野 憲一	30人
10月10日	特別展「デ・キリコ展」の見どころ紹介／垂水	山田 麻里亜	22人
11月30日	池長孟と南蛮美術コレクション／灘	塚原 晃	31人
11月30日	神戸と秀吉に関する講座／兵庫	三好 俊	31人
2月18日	楠木正成の「人物像」にせまる／垂水	水嶋 彩乃	25人
②その他			
月 日	タイトル／場所	講 師	参加者
7月25日	浮世絵の摺師に挑戦／北神区文化センター	佐藤 樹里	10組
9月3日	歴史と文化を伝える博物館のとりくみ／婦人大学	永山 未沙希	11人
11月10日	道場河原の足懸り～松原城発掘調査断～／北神区文化センター	田島 靖大	40人

### ③展覧会に伴う相互割引、相互サービスの実施

来館者が博物館だけではなく、居留地や三宮・元町周辺にも足を向けてもらいやすいよう、周辺施設及び特別展観覧施設と相互割引、相互サービスを実施。あわせて、多くの飲食店とタイアップを企画し、それらの飲食店を紹介するマップの作成などを行った。

### ④三宮プラッツとの連携事業

三宮プラッツと連携し、開館時間延長日に KOBE NIGHT LOOP としてイベントを開催。参加者配布した整理券を券売窓口提示で、コレクション展示、特別展を割引料金（団体料金）としている。

月 日	内 容	参加者
6月28日	17:00-19:00 (地階講堂) FROM CASH BOX【音楽ライブ】	20人
6月28日	16:00-19:00 (1階体験学習室) つるりん ミニせっけんづくり	11人
7月26日	17:00-19:00 (地階講堂) Art and Culture ライブパフォーマンス	40人
7月26日	15:00-18:00 (1階体験学習室) 古代ローマの文字で缶バッジをつくろう	44人

8月23日	18:00-19:30 (地階講堂) Bloom Works【音楽ライブ】	43人
8月23日	16:00-19:00 (1階体験学習室) ローマと日本の文化をコラージュ	33人
6月28日 ～ 8月23日	ビンゴラリー	—
9月27日	18:00-19:00 (地階講堂) JAZZ LIVE	115人
9月27日	16:00-19:00 (1階体験学習室) リンゴ&オリジナル カタヌキアート	21人
10月25日	17:00-19:00 (地階講堂) アダチケンゴ【音楽ライブ】	67人
10月25日	16:00-19:00 (1階体験学習室) ハイザイ ARTCARAVAN	18人
11月22日	17:00-19:00 (地階講堂) ライブパフォーマンス	72人
11月22日	16:00-19:00 (1階体験学習室) 簡単楽しいクレパスアート	26人
9月27日 ～ 12月8日	謎解きラリー	—
1月24日	18:00-19:00 (地階講堂) 動くエキシビジョン Crazy Hair Show	140人
1月24日	16:00-19:00 (1階体験学習室) 竹あかりワークショップ	24人
2月28日	17:00-19:00 (地階講堂) フラスタイル Hawaiian Show	64人
2月28日	16:00-19:00 (1階体験学習室) 神戸百景塗り絵ワークショップ	14人
3月21日	17:00-19:00 (地階講堂) 神戸松蔭 NIGHT Fashion Show	35人
3月21日	16:00-19:00 (1階体験学習室) 地図作りワークショップ	24人
1月24日 ～ 3月21日	フォトコンテスト	—

## やさしさと安心の確保

### 1. 施設管理

#### (1) 設備総括管理業務

委託先	(株) アサヒファシリティズ
業務内容	博物館の機械設備・電気設備・防災設備等の保守、点検、維持 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設管理マネジメント業務</li> <li>・設備の運転・監視及び日常点検・保守業務</li> <li>・設備の定期点検、法定点検等及び保守業務</li> <li>・設備の清掃業務</li> </ul>
委託期間	令和5年4月～令和8年3月

#### (2) その他施設等の改修工事の実施

<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場オーバードア補修</li> <li>・排煙設備補修</li> <li>・1F歴史展示室防火扉補修</li> <li>・屋上銅製扉修理 他</li> </ul>
--

### 2. インフォメーション、ショップ・カフェ

#### (1) インフォメーション

委託先	日東カストディアル・サービス(株)
業務内容	①発券・インフォメーション業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コレクション展・企画展の観覧券・定期券の販売</li> <li>・インフォメーション業務</li> <li>・式典等の補助業務</li> <li>・展示室巡回</li> <li>・その他(遺失物対応、救護室対応、クローク対応等)</li> </ul> ②情報コーナー監視業務等 ③事務室電話交換対応業務等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室での電話対応、電話交換</li> <li>・館内放送</li> <li>・集計表(日計・月計)の作成・報告</li> </ul>
業務体制	基本配置人員：5ポスト

#### (2) ミュージアムショップ・カフェ

形態	行政財産の目的外使用許可
許可者	令和6年4月1日～8月末(株) TOOTH TOOTH(店名 凸凹茶房) 令和6年10月22日～令和7年3月末(株) 北野美術館(店名 Museum café)

### 3. 警備、清掃

(1) 警備	
委託先	人的警備：令和6年4月（株）神戸パトロール警備保障 令和5年5月から令和8年4月 ARTY KOBE（株） 機械警備：国際ライフパートナー（株）
体制	24時間常駐警備（昼間：2人、夜間：1人）、夜間は機械警備

(2) 清掃	
委託先	令和5年10月～令和7年9月：（株）フタバサービス
業務概要	館内及び周辺（ドライエリア含む）の日常清掃
体制	①開館日：目安3人以上 ・7:00～10:00 2人以上 ・7:30～15:00 1人以上（通常開館時） ・7:00～10:00 1人（特別展開催時） ・11:00～16:00 1人（金・土以外 実行委員会） ・11:00～18:00 1人（金・土 実行委員会） ②臨時休館日：目安1人以上 ・7:00～10:00 1人以上

4. 緊急時対応	
(1) 消防訓練	
火災の発生など緊急時における対応策として、特別展開催前日において館職員及び業務委託業者、展覧会運営受託業者など関係者全員が参加する消防訓練を実施した。	
実施実績	・令和6年6月21日（テルマエ展） ・令和6年9月13日（デ・キリコ展） ・令和7年1月31日（古地図からひろがる世界展）

(2) 新型コロナウイルス感染症対策等	
新型コロナ感染症対策等のため手指消毒の徹底及びマスクの着用の推奨、玄関風除室他にアルコール消毒液を配置	

# 入館者数

1. 年間入館者数		
開館日数	全 体	264 日
	特別展	217 日
入館者数	総入館者数	213,350 人
	コレクション展示	44,207 人
	特別展	128,901 人
1 日平均	総入館者数	808 人
	コレクション展示	167 人
	特別展	594 人

※総入館者数はコレクション展示室、特別展入場者合計に1階無料エリア来場者数を加えた数。

2. 年齢層・階層別												
コレクション展示												
月	開館日数	一般	大学生	高校生	小中生	シルバー	小 計		その他	入場者数合計	総入館者数	
4	26	1,715	227	1,073	322	413	3,750		507	4,257	12,913	
5	17	1,540	181	764	524	487	3,496		972	4,468	13,652	
6	15	826	124	66	510	135	1,661		406	2,067	9,313	
7	26	1,015	76	120	522	244	1,977		2,604	4,581	17,831	
8	22	1,611	226	436	549	469	3,291		757	4,048	22,521	
9	14	1,579	169	169	184	269	2,370		595	2,965	20,903	
10	27	2,305	313	568	527	592	4,305		1,414	5,719	30,900	
11	26	1,706	144	238	1,280	386	3,754		2,032	5,786	39,251	
12	12	927	99	87	526	116	1,755		437	2,192	17,174	
1	20	1,026	104	72	335	57	1,594		150	1,744	5,944	
2	28	1,258	161	55	1,094	176	2,744		431	3,175	11,596	
3	31	999	159	135	1,368	162	2,823		382	3,205	11,352	
計	264	16,507	1,983	3,783	7,741	3,506	33,520		10,687	44,207	213,350	
特別展												
月	開館日数	一般	大学生	高校生	小中生	シルバー	未就学児	障害者	小 計	その他	入場者数合計	総入館者数
4	26	3,820	220	1,088	333	586	20	433	6,500	575	7,075	12,913
5	17	3,718	253	789	333	594	24	445	6,156	1,120	7,276	13,652
6	8	2,454	233	102	162	227	24	377	3,579	488	4,067	9,313
7	26	6,029	586	287	666	515	58	841	8,982	1,230	10,212	17,831
8	22	7,903	903	729	997	572	105	810	12,019	1,622	13,641	22,521
9	14	11,080	855	286	413	462	97	810	14,003	460	14,463	20,903
10	27	15,562	1,165	722	520	870	120	1,294	20,253	1,126	21,379	30,900
11	26	19,873	1,669	548	1,700	961	172	1,446	26,369	2,200	28,569	39,251
12	7	8,323	874	254	563	338	102	627	11,081	1,193	12,274	17,174
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,944
2	24	2,591	247	62	829	255	19	378	4,381	366	4,747	11,596
3	20	2,391	227	157	1,343	202	14	304	4,638	560	5,198	11,352
計	217	83,744	7,232	5,024	7,859	5,582	755	7,765	117,961	10,940	128,901	213,350

### 3. 特別展

展覧会名		Colorful JAPAN 展		テルマエ展		
会 期		4/1～5/19		6/22～8/25		
開催日数		43 日間		56 日間		
		入場料	入場者数	入場料	入場者数	
有 料	一 般	個人	1,200 円	6,741	1,800 円	13,522
		団体	1,000 円	187	1,600 円	262
		前売	1,000 円	250	1,600 円	1,929
		計	—	7,178	—	15,713
	大 学 生	個人	600 円	465	900 円	1,579
		団体	400 円	0	800 円	80
		前売	400 円	8	—	58
		計	—	473	—	1,717
	シルバー	600 円	1,180	900 円	1,314	
	MC	—	360	—	678	
小 計	—	1,540	—	1,992		
無 料	高校生	—	1,877	—	1,118	
	小中生	—	666	—	1,825	
	未就学児	—	44	—	187	
	障害者	—	704	—	1,520	
	その他	—	1,879	—	3,848	
	小 計	—	5,170	—	8,498	
合 計			14,361		27,920	
1 日 平 均			333		498	

展覧会名		デ・キリコ展		古地図からひろがる世界展 日本銅版画 30の極み展		
会 期		9/14～12/8		2/1～3/23		
開催日数		74 日間		44 日間		
		入場料	入場者数	入場料	入場者数	
有 料	一 般	個人	2,000 円	41,984	1,400 円	3,907
		団体	1,800 円	292	1,200 円	374
		前売	1,800 円	11,376	1,200 円	131
		計	—	53,652	—	4,412
	大 学 生	個人	1,000 円	4,115	700 円	466
		団体	900 円	168	600 円	0
		前売	900 円	245	600 円	6
		計	—	4,528	—	472
	シルバー	1,000 円	2,631	700 円	457	
	MC	—	1,221	—	572	
小 計	—	3,852	—	1,029		
無 料	高校生	—	1,810	—	219	
	小中生	—	3,196	—	2,172	
	未就学児	—	491	—	33	
	障害者	—	3,333	—	627	
	その他	—	5,823	—	981	
	小 計	—	14,653	—	4,032	
合 計			76,685		9,945	
1 日 平 均			1,036		226	

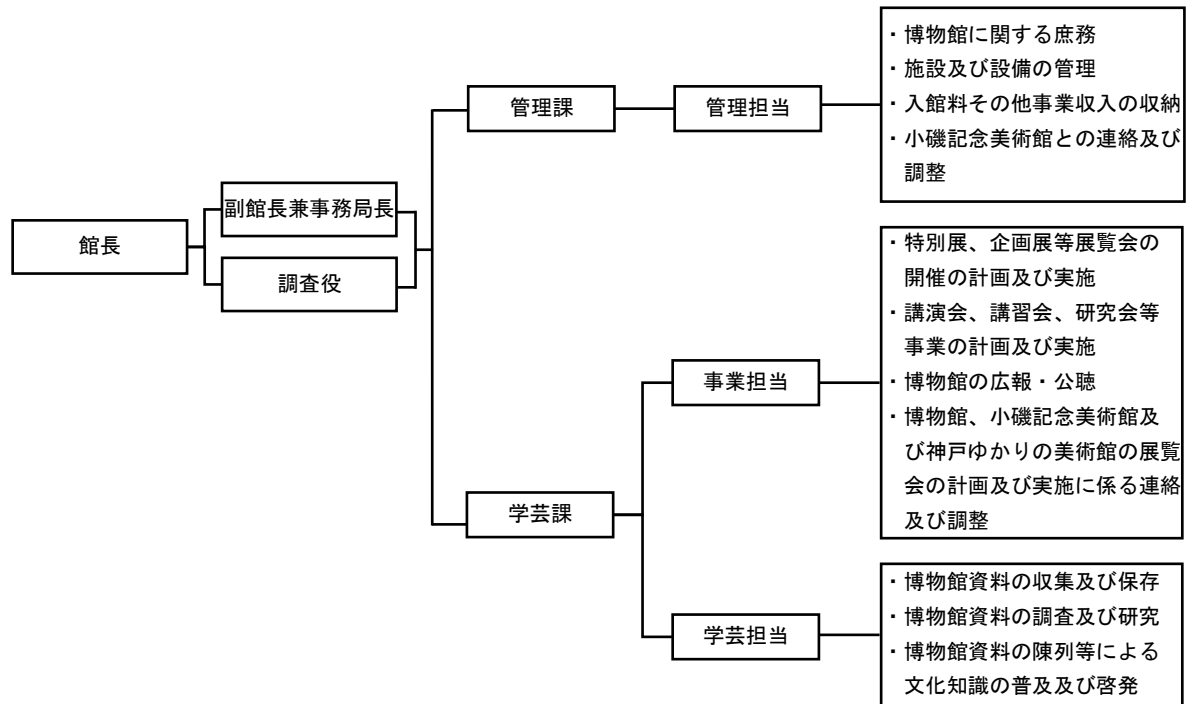
## 予 算

	(単位：千円)
常設展	3,676
普及事業関連	3,700
調査研究・館蔵品等整備	13,344
管理運営	131,452
特別展開催	161,016
合 計	313,188

## 博物館・美術館協議会 博物館分科会

博物館分科会 会長		
原田 正俊	関西大学文学部教授	(学識経験)
博物館分科会 委員		
長崎 康子	神戸市小学校教育実践研修社会科グループ 担当課長(白川小学校長)	(学校教育)
森田 祐子	神戸市婦人団体協議会副会長	(社会教育・家庭教育・ 市民代表)
木原 正剛	特定非営利活動法人こうべユースネット理事	(社会教育・家庭教育・ 市民代表)
村上 蘭	神戸市ネットモニター	(社会教育・家庭教育・ 市民代表)
黒田 千晴	神戸大学大学教育推進機構グローバル教育セン ター准教授	(学識経験)
大河内 智之	奈良大学文学部准教授	(学識経験)
松岡 辰弥	旧居留地連絡協議会会長	(地域団体)

## 組織 ・ 職員



職員	(令和7年3月31日現在)				
館長	油井 洋明	学芸課			
		学芸課長	小野田 一幸		
副館長兼事務局長	三尾 浩之				
調査役	面出 輝幸	事業担当		学芸担当	
		係長	川野 憲一	係長	塚原 晃
管理課		係長	小林 さやか	学芸員	三好 俊
管理課長	村上 一徳	指導主事	佐藤 樹里	〃	永山 未沙希
		〃	上田 文江	〃	水嶋 彩乃
管理担当		学芸員	中山 創太	〃	高橋 佳苗
係長	八木 良夫	〃	田島 靖大		
係長補佐	上田 由美	〃	萱原 朋奈		
係長補佐	久原 千鶴	〃	鈴木 更紗		
事務職員	櫻井 智慧	〃	山田 麻理亜		

**神戸市立博物館年報 No.41**

—令和 6 年度—

発行年月日 令和 7 年 3 月 31 日

編集・発行 神戸市立博物館

〒650-0034 神戸市中央区京町 24 番地

TEL : 078-391-0035

FAX : 078-392-7054